

平成 22 年 10 月 28 日

大阪府知事 橋下 徹 様

(住 所) 大阪市住吉区万代東3-1-56
(名 称) 大阪府立急性期・総合医療センター
(代表者) 院 長 荻原 俊男 印

大阪府がん診療拠点病院の現況報告書の提出について

標記について、「大阪府がん診療拠点病院設置要綱」に基づき、
別添関係書類を添えて、現況報告書を提出します。

<指定申請:提出資料一覧>

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

		頁	
【大阪府がん診療拠点病院 新規指定(様式)】		1	
様式1	(指定) 連絡先	2	
様式2	(指定) 病院概要	3~10	
様式3	(指定) 大阪府がん診療拠点病院の指定要件等について	11~14	
【添付資料】			
資料番号	様式	内 容	
別紙1	(指定)	保有する放射線診療機器等の一覧	15~16
別紙2	(指定)	高度医療への対応状況 (がんに関するもの)	17
別紙3	(指定)	放射線療法を連携する医療機関	18
別紙4	(指定)	診療機能(専門分野等)	19~30
別紙5	(指定)	院内クリティカルパス	31~35
別紙6	(指定)	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	36
別紙7	(指定)	外来化学療法室に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性	37~39
別紙8	(指定)	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	40
別紙9	(指定)	緩和ケアチームの組織・体制	41~43
別紙10	(指定)	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順	44~47
別紙11	(指定)	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制	48
別紙12	(指定)	緩和ケアチームに対する新規診療依頼症例	49~50
別紙13	(指定)	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績	51~52
別紙14	(指定)	緩和ケアに関する広報	53~54
別紙15	(指定)	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性	55
別紙16	(指定)	病理診断について協力を得られる医療機関	56
別紙17	(指定)	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性	57
別紙18	(指定)	地域の医療機関への診療支援や病連携・病診連携の体制	58~62
別紙19	(指定)	地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況	63
別紙20	(指定)	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制	64~68
別紙21	(指定)	セカンドオピニオンに関する情報提供	69
別紙22	(指定)	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況	70
別紙23	(指定)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況	71
別紙24	(指定)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象としたがんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況	72
別紙25	(指定)	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況	73
別紙26	(指定)	相談支援窓口の相談対応状況	74
別紙27	(指定)	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制構築の取り組みの状況	75
別紙28	(指定)	がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口	76~79
別紙29	(指定)	院内がん登録の登録実施項目	80
別紙30	(指定)	患者・府民を対象としたがんに関する講演会の実施状況	81
別紙31	(指定)	府民へのメッセージ	82
		追加様式	83

大阪府がん診療拠点病院 新規指定・指定更新推薦書・現況報告書
 平成22年9月1日時点について記載

1. 新規・更新の別	(1) 新規指定	(2) 指定更新[指定年月日:平成22年4月1日]	(3) 現況報告
------------	----------	---------------------------	----------

※該当する項目を口で囲むこと。

2. 病院概要

(1)病院名(表紙シートの病院名を反映)	大阪府立急性期・総合医療センター		
(2)所在地等			
郵便番号	558-8558		
住所	大阪市住吉区万代東3-1-56		
電話番号(代表)	06-6606-1201		
FAX番号(代表)	06-6606-7000		
e-mail(代表)			
HPアドレス	http://www.gh.opho.jp		
所属2次医療圏	大阪市		
(3)開設			
①開設者	高杉豊		
②開設年月日(和暦/YY/MM/DD)	平成18年4月1日		
(4)アクセス情報			
①鉄道	地下鉄御堂線 長居駅から15分 JR阪和線 長居駅から 徒歩12分 南海高谷線 帝塚山駅から10分		
②バス	大阪市営バス「府立総合医療センター」バス停下車すぐ		
③高速道路の最寄りインターチェンジ	阪神高速道路 玉出から 10分		
④駐車場	293台		
(5)面積			
①土地	40693.61 m ²		
②建物	71.530 m ²		
(6)診療時間			
①外来診療受付時間	月曜～金曜 8時40分～11時(予約診察の場合は予約時間まで受付)		
②外来診療時間	月曜～金曜 9時～17時30分		
③休診日	毎週土・日曜日、祝日、年末年始		
④初診時の予約の要否	一部の診療科で必要	(すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)	
⑤初診時の紹介状の要否	一部の診療科で必要	(すべての診療科で必要・一部の診療科で必要・不要)	
(7)診療科			
開設診療科名(医療法施行令第3条の2(法第6条の6第1項に規定する政令で定める診療科名)を以下に記載)			
開設診療科一覧について、ホームページで公開している場合は、そのページのURL http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php			
内科	あり	(あり・休診中・なし)	
呼吸器内科	なし	(あり・休診中・なし)	
循環器内科	なし	(あり・休診中・なし)	
消化器内科	あり	(あり・休診中・なし)	
心臓内科	あり	(あり・休診中・なし)	
血液内科	なし	(あり・休診中・なし)	
気管食道内科	なし	(あり・休診中・なし)	
胃腸内科	なし	(あり・休診中・なし)	
腫瘍内科	なし	(あり・休診中・なし)	
糖尿病内科	なし	(あり・休診中・なし)	
代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)	
内分泌内科	なし	(あり・休診中・なし)	
脂質代謝内科	なし	(あり・休診中・なし)	
腎臓内科	あり	(あり・休診中・なし)	
神経内科	あり	(あり・休診中・なし)	
心療内科	なし	(あり・休診中・なし)	
感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)	
漢方内科	なし	(あり・休診中・なし)	
老年内科	なし	(あり・休診中・なし)	
女性内科	なし	(あり・休診中・なし)	
新生児内科	なし	(あり・休診中・なし)	
性感染症内科	なし	(あり・休診中・なし)	
内視鏡内科	なし	(あり・休診中・なし)	
人工透析内科	なし	(あり・休診中・なし)	
疼痛緩和内科	なし	(あり・休診中・なし)	
ペインクリニック内科	なし	(あり・休診中・なし)	
アレルギー疾患内科	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(ペインクリニック)	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(循環器)	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(薬物療法)	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(感染症)	なし	(あり・休診中・なし)	
内科(骨髄移植)	なし	(あり・休診中・なし)	
外科	あり	(あり・休診中・なし)	
呼吸器外科	なし	(あり・休診中・なし)	
心臓血管外科	あり	(あり・休診中・なし)	
心臓外科	なし	(あり・休診中・なし)	
消化器外科	なし	(あり・休診中・なし)	

乳腺外科	なし	(あり・休診中・なし)
小児外科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
肛門外科	なし	(あり・休診中・なし)
整形外科	あり	(あり・休診中・なし)
脳神経外科	あり	(あり・休診中・なし)
形成外科	あり	(あり・休診中・なし)
美容外科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍外科	なし	(あり・休診中・なし)
移植外科	なし	(あり・休診中・なし)
頭頸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
胸部外科	なし	(あり・休診中・なし)
腹部外科	なし	(あり・休診中・なし)
肝臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
膵臓外科	なし	(あり・休診中・なし)
胆のう外科	なし	(あり・休診中・なし)
食道外科	なし	(あり・休診中・なし)
胃外科	なし	(あり・休診中・なし)
大腸外科	なし	(あり・休診中・なし)
内視鏡外科	なし	(あり・休診中・なし)
ペインクリニック外科	なし	(あり・休診中・なし)
外科(内視鏡)	なし	(あり・休診中・なし)
外科(がん)	なし	(あり・休診中・なし)
精神科	あり	(あり・休診中・なし)
アレルギー科	なし	(あり・休診中・なし)
リウマチ科	あり	(あり・休診中・なし)
小児科	あり	(あり・休診中・なし)
皮膚科	あり	(あり・休診中・なし)
泌尿器科	あり	(あり・休診中・なし)
産婦人科	あり	(あり・休診中・なし)
産科	なし	(あり・休診中・なし)
婦人科	なし	(あり・休診中・なし)
眼科	あり	(あり・休診中・なし)
耳鼻いんこう科	あり	(あり・休診中・なし)
リハビリテーション科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線科	あり	(あり・休診中・なし)
放射線診断科	なし	(あり・休診中・なし)
放射線治療科	あり	(あり・休診中・なし)
病理診断科	あり	(あり・休診中・なし)
臨床検査科	あり	(あり・休診中・なし)
救急科	あり	(あり・休診中・なし)
児童精神科	なし	(あり・休診中・なし)
老年精神科	なし	(あり・休診中・なし)
小児眼科	なし	(あり・休診中・なし)
小児耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
小児皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
気管食道・耳鼻いんこう科	なし	(あり・休診中・なし)
腫瘍放射線科	なし	(あり・休診中・なし)
男性泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
神経泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児泌尿器科	なし	(あり・休診中・なし)
小児科(新生児)	なし	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(不妊治療)	なし	(あり・休診中・なし)
泌尿器科(人工透析)	なし	(あり・休診中・なし)
産婦人科(生殖医療)	なし	(あり・休診中・なし)
美容皮膚科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科	あり	(あり・休診中・なし)
小児歯科	なし	(あり・休診中・なし)
矯正歯科	なし	(あり・休診中・なし)
歯科口腔外科	あり	(あり・休診中・なし)
呼吸器科	なし	(あり・休診中・なし)
循環器科	なし	(あり・休診中・なし)
消化器科	なし	(あり・休診中・なし)
精神神経科	なし	(あり・休診中・なし)

②届出された先進医療の状況等		
先進医療への対応状況(がんに関するもの)		別紙2

③診療報酬に係る施設基準等(件数は平成21年9月-平成22年8月の集計)			
DPC対象病院		はい	(はい・いいえ)
DPC準備病院(H22年度調査参加)		いいえ	(はい・いいえ)
がん診療連携拠点病院加算(A232)	あり	(あり、なし)	120 件入院1回
退院時共同指導料2(B005)	あり	(あり、なし)	20 件入院中1回
緩和ケア診療加算(A226-2)	あり	(あり、なし)	1,258 件1日につき
緩和ケア病棟入院料(A310)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
麻薬管理指導加算(B008)	あり	(あり、なし)	109 件1回につき
がん性疼痛緩和指導管理料(B001-22)	あり	(あり、なし)	498 件月1回
リンパ浮腫指導管理料(B001-7)	あり	(あり、なし)	55 件入院中1回
外来化学療法加算I(第6部 通則)	あり	(あり、なし)	410 件1日につき
外来化学療法加算II(第6部 通則)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
診療録管理体制加算(A207)	あり	(あり、なし)	10,762 件入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
医師事務作業補助体制加算(A207-2)	あり	(あり、なし)	14,015 件入院初日(期間内に新たに入院された患者の数を計上)
栄養管理実施加算(A233)	あり	(あり、なし)	223,705 件1日につき
医療安全対策加算(A234)	あり	(あり、なし)	14,259 件入院初日
退院調整加算(A238)	なし	(あり、なし)	0 件入院時1回、退院時1回
救命救急入院料1(A300)	あり	(あり、なし)	6,022 件1日につき
救命救急入院料2(A300)	あり	(あり、なし)	1,772 件1日につき
特定集中治療室管理料(A301)	あり	(あり、なし)	2,434 件1日につき
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	なし	(あり、なし)	0 件1日につき
ニコチン依存症管理料(B001-3-2)	あり	(あり、なし)	235 件診療回数に応じて
在宅療養支援病院の施設基準	なし	(あり、なし)	件数は計上しない。
がん治療連携計画策定料(計画策定病院)(B005)	なし	(あり、なし)	0 件退院時1回
薬剤管理指導料(B008)	あり	(あり、なし)	7,681 件週1回
医療機器安全管理料(B011-4)	あり	(あり、なし)	1,736 件1月につき、放射線治療は一連で1回
検体検査管理加算(Ⅲ)(D026)	あり	(あり、なし)	8,797 件月1回
遺伝カウンセリング加算(D026)	なし	(あり、なし)	0 件月1回
画像診断管理加算2(第4部 通則)	あり	(あり、なし)	23,110 件月1回
遠隔画像診断による画像診断の施設基準	なし	(あり、なし)	0 件月1回
ポジロン断層撮影(E101-2)	なし	(あり、なし)	0 件一連につき1回
コンピューター断層複合撮影の施設基準(E101-)	なし	(あり、なし)	0 件一連につき1回
無菌製剤処理料1(G020)	あり	(あり、なし)	5,524 件1日につき
輸血管理料I(K920-2)	あり	(あり、なし)	2,092 件月1回
輸血管理料II(K920-2)	なし	(あり、なし)	0 件月1回
放射線治療管理料(M000)	あり	(あり、なし)	556 件分布図作成1回につき1回、治療過程において2回
放射線治療専任加算(M000)	あり	(あり、なし)	555 件1日につき
外来放射線治療加算(M000)	あり	(あり、なし)	3,322 件1日につき1回
高エネルギー放射線治療の施設基準(M001)	あり	(あり、なし)	7,358 件1回
強度変調放射線治療(IMRT)の施設基準(M000)	なし	(あり、なし)	0 件1回
直線加速器による定位放射線治療の施設基準(M001-3)	なし	(あり、なし)	0 件1回
テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製料(N003)	なし	(あり、なし)	0 件1手術につき
がん患者カウンセリング料(B001-23)	あり	(あり、なし)	12 件1回

(10)職員数	総職員数 (事務職員含む)	1,025	人
---------	------------------	-------	---

・常勤医師数:「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。

①職種別内訳				
※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。				
		非常勤	常勤	
	※(常勤換算)			
医師	3.1	人	221	人
歯科医師	0	人	7	人
薬剤師	6.8	人	22	人
保健師	0	人	0	人
助産師	0	人	21	人
看護師	5.8	人	638	人
准看護師	1.5	人	11	人
理学療法士	0	人	22	人
作業療法士	0	人	13	人
視能訓練士	0	人	3	人
言語聴覚士	0	人	6	人
義肢装具士	0	人	0	人

歯科医師				
(社)日本口腔外科学会 口腔外科専門医	0	人	1	人
(社)日本病理学会 口腔病理専門医	0	人	0	人
看護師				
(社)日本看護協会 がん看護専門看護師	0	人	0	人
(社)日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	0	人	1	人
(社)日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	人	0	人
(社)日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	人	0	人
(社)日本看護協会 緩和ケア認定看護師	0	人	1	人
(社)日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	0	人	1	人
(社)日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	人	1	人
(社)日本看護協会 手術看護認定看護師	0	人	0	人
IVR学会認定看護師	0	人	0	人
③その他専門的技術・知識を有する医療従事者				
	※(常勤換算)		常勤	
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	0	人	2	人
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	0	人	0	人
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0	人	4	人
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	0	人	0	人
日本臨床細胞学会 細胞検査士	0	人	0	人
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	0	人	5	人
日本医学放射線学会 医学物理士	0	人	7	人
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	0	人	0	人
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	0	人	0	人
四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士	0	人	3	人
その他				
		人		人
		人		人
		人		人
④その他の従事者				
医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外)	0	人	5	人
診療録管理部門の職員	0	人	3	人
医療心理に携わる者	0	人	1	人
治験コーディネーター	0	人	2	人
データマネージャー (医学研究、特に臨床研究において、研究データの収集や入力、データの品質管理を担うデータマネージメントの専門家。医学知識、生物統計学の基礎知識、データベース等の情報工学の基礎知識を要する。)	0	人	0	人
生物統計家 (統計学を専門とする統計家のうち、医学・薬学・農学・心理学などの生命科学に特化した知識・経験を有する統計家。生命科学の研究のデザインやデータの統計解析を担当する。)	0	人	0	人
医師事務作業補助者	31	人	0	人
看護業務補助者	34	人	14	人
(11)その他(平成22年9月1日現在)				
①承認等の状況				
地域医療支援病院			承認あり	(承認あり、承認なし)
開放型病院			承認あり	(承認あり、承認なし)
②夜間(深夜も含む)救急対応の可否			可	(可、否)
③各種委員会の設置状況				
倫理審査委員会	あり	(あり、なし) 年	4	回開催
治験審査委員会	あり	(あり、なし) 年	11	回開催
④診療情報管理の状況				
・病院情報システムの稼働状況				
検査オーダー			あり	(あり、なし)
処方オーダー			あり	(あり、なし)
診療予約オーダー			あり	(あり、なし)
入院病名オーダー			あり	(あり、なし)
外来病名オーダー			あり	(あり、なし)
電子カルテ			あり	(あり、なし)
・ICDコードの利用状況				
ICD-10を入院病名管理に利用している			はい	(はい・いいえ)
ICD-10を外来病名管理に利用している			はい	(はい・いいえ)
⑤遠隔医療システム等の導入状況				
遠隔画像診断			なし	(あり、なし)
遠隔病理診断			なし	(あり、なし)
在宅療養支援			なし	(あり、なし)
外来診察室におけるインターネット環境			なし	(あり、なし)
病棟におけるインターネット環境			あり	(あり、なし)

(12)患者数・診療件数の状況		
① 患者数等		
年間新入院のべ患者数（平成21年1月1日～12月31日）	15,686	人
年間新入院のべがん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1	2,858	人
年間新入院のべ患者数に占めるがん患者の割合	18.2%	
年間外来のべがん患者延数（平成21年1月1日～12月31日）※3	96,542	人
年間院内死亡がん患者数（平成21年1月1日～12月31日）※1	249	人
新入院のべ患者数(原則、平成22年4月1日～7月31日までの新入院患者)	5,613	人
うちのがん患者数	1,032	人
(新入院患者数に占めるがん患者の割合)	18.4%	
うちのべ肺がん患者数（ICD-10コード C34\$）	138	人
うちのべ胃がん患者数（ICD-10コード C16\$）	112	人
うちのべ大腸がん(直腸がんを含む)患者数（ICD-10コード C18\$, C19, C20）	106	人
うちのべ肝臓がん患者数（ICD-10コード C22\$）	95	人
うちのべ乳がん患者数（ICD-10コード C50\$）	37	人
* ※1 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。 ※2 \$は以下の分類をすべて含んでいる。 ※3 年間外来のべがん患者延数は、+当年の新来、再来がん患者及び住診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者のべ延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。 ※4 新入院のべ(がん)患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。		
② 麻酔及び手術等の状況(平成22年4月1日～7月31日)		
全身麻酔(静脈麻酔は除く)	1,275	件
ア 悪性腫瘍の手術件数の総数	532	件
イ 肺がん(C34\$)の手術件数		
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$	1	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$	15	件
ウ 胃がん(C16\$)の手術件数		
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572	22	件
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22	14	件
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531	1	件
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD) K6532	16	件
エ 大腸がん(C18\$, C19, C20)の手術件数		
開腹手術 K7193, K739\$, K740\$, K748\$	8	件
腹腔鏡下手術 K719-2\$, K719-3, K740-2\$	12	件
内視鏡手術 K7211	177	件
オ 肝臓がん(C22\$)の手術件数		
開腹手術 K695\$	2	件
マイクロ波凝固法 K697-2	0	件
ラジオ波焼灼療法 K697-3	12	件
カ 乳がん(C50\$)の手術件数		
手術 K476\$	7	件
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2	0	件
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$	1	件
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3	0	件
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32	0	件
キ 転移性肺がん(C780)の手術件数		
開胸手術 K514\$, K5182, K511\$	0	件
胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513	5	件
ク 転移性肝がん(C787)の手術件数		
開腹手術 K695\$	3	件
③ 放射線治療		
※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。		
ア-1 のべ患者実数（平成21年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数）		
例：平成21年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
体外照射	381	人
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	0	人
定位照射(体幹部)	0	人
強度変調放射線治療(IMRT)	0	人
小線源治療	0	人
ア-2 のべ患者実数（平成22年4月1日～7月31日の間に放射線治療を開始した患者数）		
例：平成22年4月に新患として放射線治療を受け、同年7月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
<入院>		
肺がん	27	人
胃がん	0	人
肝がん	1	人
大腸がん	1	人
乳がん	2	人
<外来>		
肺がん	10	人
胃がん	0	人
肝がん	1	人
大腸がん	3	人
乳がん	11	人

イ-1 照射回数（平成22年4月1日～7月31日のべ照射回数）		
体外照射	2,719	回
そのうち特殊なもの		
定位照射(脳)	0	回
定位照射(体幹部)	0	回
強度変調放射線治療(IMRT)	0	回
小線源治療	0	回
イ-2 のべ照射回数（平成22年4月1日～7月31日）		
<入院>		
肺がん	478	回
胃がん	0	回
肝がん	10	回
大腸がん	10	回
乳がん	50	回
<外来>		
肺がん	169	回
胃がん	0	回
肝がん	21	回
大腸がん	71	回
乳がん	362	回
④ がんに係る化学療法（平成22年4月1日～7月31日）		
ア のべ患者数（化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象外とする。）		
例：当月中に、エトポシド+シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。		
<入院>	193	人
<外来>	510	人
イ のべ処方件数（抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けした数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。）		
例：当月中に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。		
<入院>	1,576	件
<外来>	4,392	件
⑤ 検査等の実施状況		
ア 病理診断の件数		
病理診断(平成21年1月1日～12月31日)	6,476	件
細胞診断(平成21年1月1日～12月31日)	6,486	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査(平成21年1月1日～12月31日)	348	件
剖検(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	32	件
剖検率(平成21年1月1日～平成21年12月31日)	5.0	%
イ 画像診断等の件数（平成21年1月1日～12月31日）		
上部消化管内視鏡検査	5,388	件
気管支内視鏡検査	313	件
大腸内視鏡検査	2,075	件
血管連続撮影	2,240	件
スパイラルCT検査	23,580	件
CTガイド下生検	2	件
MRI検査	10,630	件
RI診断検査(シンチグラム)	1,137	件
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査	1,155	件
PET(陽電子断層撮影)検査	0	件

3. 大阪府がん診療拠点病院の指定要件等について

大阪府立急性期・総合医療センター

指定要件での扱い

A:必須

B:原則必須

C:対応することが望ましい

-:指定要件に記載なし

1. 診療体制				
(1) 診療機能				
① 集学的治療の提供体制と標準的治療等の提供機能				
ア	5大がんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 * 「5大がん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。 * 「集学的治療等」とは、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療をいう。 * 「放射線療法」については、他の医療機関との連携によって対応できる体制を有することも可とする。 * 「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
	放射線療法について、他の医療機関との連携によって対応する場合、放射線療法を連携する医療機関名について別紙3に記入すること。	A	別紙3	
イ	5大がん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙4に記載すること。	A	別紙4	
エ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備している。 * 「院内クリティカルパス」とは、検査及び治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
オ	5大がんについて、院内クリティカルパスを整備状況を別紙5に記載すること。	A	別紙5	
カ	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、キャンサーボードを設置している。 * キャンサーボードとは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	C	はい	(はい・いいえ)
② がん化学療法の提供体制機能				
ア	外来において化学療法を提供する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	急変時等の緊急時に外来において化学療法を提供する当該がん患者が入院できる体制を確保している。	C	はい	(はい・いいえ)
ウ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 * 「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	C	はい	(はい・いいえ)
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、キャンサーボードと連携協力している。	C	はい	(はい・いいえ)
オ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙6に記載すること。	C	別紙6	
診療従事者				
ア	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	4	人
イ	うち常勤	B	4	人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	C	4	人
エ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の専任薬剤師数	1人以上A	8	人
オ	外来化学療法室(外来化学療法室を整備しない医療機関にあっては、外来において化学療法を提供する体制)における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A	2	人
カ	外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性について、別紙7に記載すること。	-	別紙7	
③ 放射線療法の提供体制(放射線療法について他の医療機関との連携によってのみ対応する場合は、記入不要)				
診療従事者				
ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	1	人
イ	放射線治療に携わる専任診療放射線技師数	1人以上A	2	人
ウ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる常勤専任技術者等の人数	1人以上A	1	人
エ	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙8に記載すること	-	別紙8	

④ 緩和ケアの提供体制				
機能				
ア	緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	緩和ケアチームの組織上の位置づけについて別紙9に記入すること。	A	別紙9	
ウ	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順を別紙10に記載すること。	A	別紙10	
エ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	C	はい	
オ	緩和ケア外来患者数(平成21年1月1日～12月31日)	C	5	人
カ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制について別紙11に記載すること。	C	別紙11	
オ	緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスが定期的開催されている。	A	はい	(はい・いいえ)
カ	緩和ケアチームに関する実績について別紙12に記入すること。	A	別紙12	
カ	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績について別紙13に記入すること。	A	別紙13	
キ	院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
ク	緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-		
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい	(はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http://www.gh.opho.jp/patient/examination/63.php	
	4.その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		-		
ケ	緩和ケアチームに関する広報状況(院内掲示)について別紙14に記入すること。	A	別紙14	
コ	かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の自宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行っている。	A	はい	(はい・いいえ)
サ	国拠点病院が実施する緩和ケアに関する地域の医療機関との連携協力体制を整備に協力している。 *「国拠点病院」とは、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
シ	緩和ケア病床数(緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない)		0	床
ス	緩和ケア病棟を有している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
セ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。(院内で統一した疼痛の評価尺度がある)	-		(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	15	人
イ	うち常勤	1人以上B	15	人
ウ	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専任医師数	1人以上C	2	人
エ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	C	1	人
オ	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師数	1人以上A	4	人
カ	緩和ケアチームに協力する薬剤師数	1人以上C	2	人
キ	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数	1人以上C	0	人
ク	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙15に記載すること。	-	別紙15	
⑤ 病理診断(病理診断について、他の医療機関から協力を得られることによって対応する場合は、体制のみ記入。機能以降の項目は記入不要)				
体制				
ア	専従の病理診断に携わる医師を1人以上配置するか、又は他の医療機関から協力を得られる体制が確保されている。	A	はい	(はい・いいえ)
	病理診断について、他の医療機関から協力が得られる体制の場合、病理診断の協力を得られる医療機関名について別紙16に記入すること。	A	別紙16	
機能				
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	はい	(はい・いいえ)
イ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
ウ	臨床グループからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	はい	(はい・いいえ)
エ	同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。	-	はい	(はい・いいえ)
診療従事者				
ア	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上A	4	人
イ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数	1人以上C	1	人
ウ	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙17に記載すること	-	別紙17	

⑥ 病病連携・病診連携の協力体制			
ア	国拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
イ	病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
ウ	地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。	-	別紙18
エ	地域の医療機関との連携協力体制の整備について、別紙19に記載すること。	-	別紙19
オ	国拠点病院が行う地域連携クリティカルパスの整備に協力する体制を整備している。 *「地域連携クリティカルパス」とは、国拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、	A	はい (はい・いいえ)
⑦ セカンドオピニオンの提示体制			
ア	5大がんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制を有すること。 *「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。	A	はい (はい・いいえ)
イ	5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙20に記載すること。	A	別紙20
ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-	ホームページ
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http://www.gh.opho.jp/patient/707.php
	4.その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
		-	具体的に
エ	セカンドオピニオンに関する詳細情報を別紙21に記載すること。	-	別紙21
⑧ その他			
スタッフのサポート体制			
ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	C	いいえ (はい・いいえ)
イ	大阪府がん診療拠点病院の長は、当該病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
リンパ浮腫の診療			
ア	リンパ浮腫外来がある。	-	はい (はい・いいえ)
	担当科	-	外科
イ	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	-	はい (はい・いいえ)
(2) 医療施設			
① 年間入院がん患者数			
ア	年間入院がん患者数(1年間に入院したがん患者の延べ人数をいう。)が概ね500人以上である。	A	はい (はい・いいえ)
② 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置			
ア	放射線療法を行う場合は、放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A	はい (はい・いいえ)
イ	外来化学療法室を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
ウ	集中治療室を設置している。	C	はい (はい・いいえ)
エ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	C	はい (はい・いいえ)
オ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙22に記載すること。	-	別紙22
③ 敷地内禁煙等			
ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A	はい (はい・いいえ)
イ	禁煙の状況	-	敷地内を全面禁煙 (敷地内を全面禁煙、施設内のみを全面禁煙、その他)
ウ	禁煙外来を実施している。	-	はい (はい・いいえ)
エ	「職場における喫煙対策のためのガイドライン」(平成15年)に準拠している	-	はい (はい・いいえ)

2 研修の実施体制			
(1)	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修に積極的に協力するとともに参加する。 ※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)に準拠した研修である。	A	はい (はい・いいえ)
	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修への協力及び参加状況について、別紙23に記載すること。	-	別紙23
(2)	(1)のほか、国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修に積極的に協力するとともに参加する。	A	はい (はい・いいえ)
	国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修への協力及び参加状況について、別紙24に記載すること。	-	別紙24
(3)	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスに積極的に参加する。	A	はい (はい・いいえ)
	国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況について、別紙25に記載すること。	-	別紙25
3 情報の収集提供体制			
(1) 相談支援機能			
①	院内に相談支援機能を有する窓口(以下「相談支援窓口」)を設置している。	A	はい (はい・いいえ)
②	当該窓口に対応しているがんに関する相談に対応できる職員数	1人以上A	1 人
③	当該窓口は、国拠点病院と連携して患者、家族及び地域の医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
④	相談支援窓口の相談対応状況を別紙26に記載すること。	-	別紙26
⑤	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築について、別紙27に記載すること。	-	別紙27
⑥	自施設を受診している、または、受診していた患者さんやご家族の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	-	164 件
	ア 対面相談		109 件
	イ 電話相談		55 件
	ウ fax相談		0 件
	エ e-mail相談		0 件
⑦	自施設を受診していない患者さんやご家族、一般の方等の相談件数 ※がんに関する相談に限る。平成22年6月-7月	-	0 件
	ア 対面相談		0 件
	イ 電話相談		0 件
	ウ fax相談		0 件
	エ e-mail相談		0 件
	相談件数合計		164
⑧	各種対応窓口について別紙28に記載すること。	-	別紙28
(2) 院内がん登録			
①	院内がん登録を実施している。	A	はい (はい・いいえ)
②	国が定める「標準登録様式」に基づく院内がん登録を実施している。	C	はい (はい・いいえ)
	院内がん登録の登録項目数	-	62 項目
	院内がん登録の登録実施項目について、別紙29に記載すること。	-	別紙29
③	院内がん登録を活用することにより、大阪府が行う地域がん登録事業にデータを提供する。	A	はい (はい・いいえ)
(3) その他			
①	臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。		はい (はい・いいえ)
ア	進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://
	4 その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
			具体的に
イ	参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している	-	はい (はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい (はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-	はい (はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://www.gh.opho.jp/hospita/department/94.php
	4 その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
			具体的に
ウ	院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	-	はい (はい・いいえ)
	窓口で対応している。	-	はい (はい・いいえ)
	電話で対応している。	-	はい (はい・いいえ)
	FAXで対応している。	-	いいえ (はい・いいえ)
	e-mailで対応している。	-	いいえ (はい・いいえ)
②	その他の情報提供等		
ア	患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	-	はい (はい・いいえ)
イ	府民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	-	はい (はい・いいえ)
ウ	患者・府民向け講演会を定期的に開催している。	-	はい (はい・いいえ)
エ	患者・府民向け講演会の実施情報について、別紙27に記載すること。	-	別紙30
③	府民へのメッセージ		
ア	HP公開用の府民へのメッセージを別紙31に記載すること。	-	別紙31

保有する放射線診療機器等の一覧

病院名 〇性期・総合医療センター

平成22年9月1日現在

コンピュータ断層撮影装置(CT)

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
(例)	〇社	ABC-12	2005. 10. 1	8列
1	東芝メディカル	アクエリオン 16	2004.3	16列
2	東芝メディカル	アクエリオン 64	2007.12.1	64列
3				
4				
5				
6				
7				
8				

磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度(テスラ数)
(例)	〇社	ABC-12	2005. 10. 1	1.5T
1	フィリップス社	インテラマスター	2002.12	1.5T
2	フィリップス社	インテラパワー	2002.12	1.5T
3				
4				
5				
6				

核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	PET装置	〇社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	SPECT	ビッカー社	プリズム2000	1993.3.24	
2	SPECT	ビッカー社	プリズム3000	1993.3.24	
3					
4					
5					

血管造影連続撮影検査(または IVR専用)に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	DSA	〇社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	DSA	フィリップス社	アルーラ	2001.11	
2	DSA	フィリップス社	H5000	2001.11	
3	DSAシネ	フィリップス社	BH5000	2001.11	
4	DSA	シーメンス社	AXIOM Artis	2004.12	
5					

外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下の多段コリメータの有無

(例)	リニアック	○社	ABC-12	2005. 10. 1	6MV、10MV	有
1	リニアック	Varian社	CL2100C	1995.1.12	4MV、10MV	
2						
3						

小線源治療装置

	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	イリジウム-192
1	nucletron	SELECTRON	1994.11.15	セシウム-137
2				
3				

放射線治療計画システム

X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	
(例)	○社	ABC-12	2005. 10. 1	
1	東芝メディカル	LX40B	1994.11.15	
2				
3				

放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	
(例)	○社	ABC-12	2002.10.1	
1	東芝メディカル	X-peed	1994.11.15	
2				
3				

三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	
(例)	○社	ABC-12	2006.10.1	
1	CMS社	Xio	1994.11.15	
2				
3				

バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	○社	ABC-12	2007.3.1
1			
2			
3			

高度医療への対応状況（がんに関するもの）

	高度医療技術名	第2項/ 第3項 (※)	承認年月日	実施件数 (平成22年 4月～8月)	担当診療科名
1	大腸ESD	第2項	H21.10.1	0	消化器内科
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準」(平成20年厚生労働省告示第129号)第2項各号に掲げる先進医療、同告示第3項各号に掲げる先進医療の区別を記入。

集学的治療の提供にあたって放射線療法を 他の医療機関との連携によって対応できる体制

平成21年1月から12月について記載(延べ数ではなく実数を記載すること。)

病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

	放射線療法について連携する医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	自院において対応		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において放射線療法を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

診療機能

期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年の 実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の当 該疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績の掲 載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野の 掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を 掲載しているページの URL ※複数のページのURLの 記載可	
(例) 肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	2	はい	いいえ	はい	http://
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	あり						
定位放射線治療	実施可	あり									
集学的治療		実施可		上記の科							
肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa mination.php
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	内科	6	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa mination.php
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa mination.php
			定位放射線治療	実施可	あり						
小線源治療	実施可	あり									
光線力学療法		未実施									
集学的治療		実施可		上記の科							
胃がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	7	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/e xamination.php
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	7	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/e xamination.php
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	消化器内科、外科	9	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa
放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa		
光線力学療法		未実施									
集学的治療		実施可		上記の科							
大腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	8	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/e xamination.php
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	7	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa
		化学療法		実施可	あり	消化器内科、外科	9	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/e xamination.php
小線源治療	未実施		なし								
集学的治療		実施可		上記の科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可	
肝がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	8	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		化学療法		実施可	あり	消化器内科、外科	9	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		穿刺療法	ラジオ波焼灼療法	実施可	あり	消化器内科	6	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php
			マイクロ波凝固法	実施可	なし						
			エタノール局所注入療法	実施可	あり						
		肝動脈塞栓術(TAE)		実施可	あり	消化器内科、画像診断科	6	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php
定位放射線治療	未実施		なし								
集学的治療		実施可		上記の科							
乳がん	診療可	手術	乳房切除	実施可	あり	外科	4	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php
			乳房温存	実施可	あり						
			乳房再建	実施可	あり	外科、形成外科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		化学療法		実施可	あり	外科	4	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php
			小線源治療	未実施	なし						
		冷凍凝固摘出術		未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い え)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
脳腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	脳神経外科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		化学療法	未実施	なし							
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	神経膠芽腫、退行性神経膠腫、転移性脳腫瘍など										
脊髄腫瘍	診療可	手術	実施可	あり	脳神経外科、整形外科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		化学療法	未実施	なし							
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1				
			定位放射線治療	未実施	なし						
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 脊髄腫瘍など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	髄膜腫、血管芽腫など										
眼、眼窩腫瘍	診療不可	手術	未実施	なし							
		冷凍凝固術	未実施	なし							
		光凝固術	未実施	なし							
		化学療法	未実施	なし							
		眼動注	未実施	なし							
		放射線療法	体外照射	未実施	なし						
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
集学的治療											
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください											

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・ いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
頭頸部 がん	診療可	手術	摘除術、再建術	実施可	あり	耳鼻咽喉・頭頸部 外科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/extra
		化学療法		実施可	あり	耳鼻咽喉・頭頸部 外科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/extra
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa mination.php
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、鼻腔がんなど										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		舌癌、口腔底癌、上咽頭癌、中咽頭癌、下咽頭癌、喉頭癌など									
甲状腺 がん	診療可	手術		実施可	あり	耳鼻咽喉・頭頸部 外科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/extra
		化学療法		実施可	あり	耳鼻咽喉・頭頸部 外科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/extra
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa mination.php
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
			小線源治療	未実施	なし						
			放射性ヨード内服治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 甲状腺がん										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		甲状腺がん									
食道がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	外科	7	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa mination.php
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	消化器内科	7	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa mination.php
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	外科	7	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/extra
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http:// www.gh.opho.jp/patient/exa mination.php
			小線源治療	未実施	なし						
		光線力学療法		未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)	例: 頸部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん(腹部食道がん)など										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		頸部食道がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
縦隔腫瘍	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		化学療法		実施可	なし	外科、内科	9	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		集学的治療				上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 胸腺腫など 胸腺腫瘍							
中皮腫	診療可	手術		実施可	なし	外科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		化学療法		実施可	なし	外科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		集学的治療				上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 中皮腫							
肺がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	9	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		化学療法		実施可	あり	消化器内科、外科	17	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 肺がん 肺がん							
胆道がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	9	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		化学療法		実施可	あり	消化器内科、外科	17	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/extra
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例: 胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん 胆道がん、									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績											
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況						
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い え)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です			
十二指腸・小腸がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	外科	9	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		化学療法		実施可	あり	消化器内科、外科	17	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		集学的治療		実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がんなど									
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		十二指腸がん									
腎がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php		
			腹腔鏡下手術	実施可	あり								
			腹腔鏡下小切開手術	未実施	なし								
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		インターフェロン療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
集学的治療				上記の科									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:腎がん											
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		腎細胞癌											
膀胱がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php		
			経尿道的手術	実施可	あり								
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		膀胱内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:膀胱がん											
※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		膀胱がん											

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容		現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況			
								治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等 の掲 載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲 載 (はい・ いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です
尿路がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php
			腹腔鏡下手術	実施可	あり						
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		腎盂・尿管内注薬療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		集学的治療									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:腎盂がん、尿管がん、尿道がんなど									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		尿管がん、腎盂がん									
副腎腫瘍	診療可	手術	開腹手術	実施可		泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
			化学療法		実施可		泌尿器科	5	はい	はい	はい
		放射線療法	体外照射	実施可		放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		集学的治療		実施可		放射線治療科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:褐色細胞腫、副腎皮質がんなど							
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		褐色細胞腫									
前立腺がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php
			腹腔鏡下手術	未実施	なし						
			腹腔鏡下小切開手術	未実施	なし						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
			強度変調放射線治療 (IMRT)	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし							
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:前立腺がん									
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		前立腺がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績										
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・ なし)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況					
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療 実績等 の掲 載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲 載 (はい・ いいえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です		
精巣がん	診療可	手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		化学療法	実施可	なし	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		集学的治療	実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:精巣がん								
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		精巣がん								
その他の男性生殖器がん	診療可	手術	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		化学療法	実施可	あり	泌尿器科	5	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		集学的治療	実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:陰茎がん								
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		陰茎がん								
子宮がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php	
			腹腔鏡下手術(腔式)	未実施	なし							
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php	
			小線源治療	未実施	なし							
		光線力学療法		未実施	なし	産婦人科		はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
集学的治療		実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:子宮頸がん、子宮体がん										
※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		子宮頸がん、子宮体がん										
卵巣がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		集学的治療	実施可		上記の科							
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日)		例:卵巣がん								
		※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		卵巣がん								

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	貴院における各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の 実施状況 ※平成22 年9月時 点 (実施可・ 未実施)	昨年 の実績 ※平成 21年1月 1日～12 月31日 (あり・な し)	担当診療科	各科の該 当疾患を 専門とし ている医 師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内 容の掲 載 (はい・ いいえ)	治療実 績等の 掲載 (はい・ いいえ)	医師の専 門分野等 の掲載 (はい・い いえ)	左記の内容を掲載してい るページのURL ※複数のページのURLの 記載可です	
その他の女性 生殖器がん	診療可	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		化学療法		実施可	あり	産婦人科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php
			小線源治療	未実施	なし						
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例:子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がんなど 腹膜癌							
皮膚腫瘍	診療可	手術		実施可	あり	皮膚科、形成外科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		化学療法		実施可	あり	外科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		インターフェロン療法		実施可	あり	形成外科		はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		凍結療法		未実施	なし			いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例:悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど 日光角化症、ポーエン病、悪性黒色腫、扁平上皮癌、基底細胞癌など									
悪性骨 軟部腫瘍	診療不可	手術	切・離断術	未実施							
			患肢温存術	未実施							
			再建術	未実施							
			骨移植術	未実施							
		化学療法		未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施							
			小線源治療	未実施							
集学的治療		未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄 に記載してください		例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫など									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
血液腫瘍	診療不可	化学療法	未実施							
		移植	自家末梢血幹細胞移植	未実施						
			血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施						
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移	未実施						
		放射線療法	体外照射	未実施						
			全身照射	未実施						
		集学的治療	未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など								
小児脳腫瘍	診療不可	手術	未実施							
		化学療法	未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施						
			定位放射線治療	未実施						
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施						
			小線源治療	未実施						
		集学的治療	未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫など								
小児網膜芽細胞腫	診療不可	手術	未実施							
		化学療法	未実施							
		眼動注	未実施							
		放射線療法	体外照射	未実施						
			小線源治療	未実施						
		冷凍凝固術	未実施							
		光凝固術	未実施							
集学的治療	未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:小児網膜芽細胞腫								
小児固形										

形腫瘍	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です	
小児悪性骨軟部腫瘍	診療不可	手術	未実施								
		化学療法	未実施								
		放射線療法	体外照射	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療	未実施								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫など								
その他の小児固形腫瘍	診療不可	手術	未実施								
		化学療法	未実施								
		放射線療法	体外照射	未実施							
			小線源治療	未実施							
		集学的治療	未実施								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫など								
小児血液腫瘍	診療可	化学療法	実施可	なし	小児科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		移植	自家末梢血幹細胞移植	未実施							
			血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施							
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	未実施							
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線治療科	1				
			小線源治療	未実施							
集学的治療	実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など										
原発不明がん	診療可	手術	実施可	なし	外科	9	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		化学療法	実施可	なし	内科	9	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/examination.php	
		放射線療法	実施可	なし	内科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa	
		集学的治療	実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:原発不明がん								

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※平成22年9月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※平成21年1月1日～12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
性腺外胚細胞腫	診療可	手術	実施可	なし	産婦人科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		化学療法	実施可	なし	産婦人科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		放射線療法	実施可	なし	放射線科	3	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		集学的治療	実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:性腺外胚細胞腫							
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間質腫瘍)	診療可	手術	実施可	なし	外科	9	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		化学療法	実施可	なし	外科	9	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		放射線療法	実施可	なし	放射線科	1	はい	はい	はい	http://www.gh.opho.jp/patient/exa
		集学的治療	実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:GIST							
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (平成21年1月1日～12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								

(別紙5)

院内クリティカルパス(がんに関するもの)

期間	平成22年 6月 1日 ~ 7月31日
病院名	大阪府立急性期・総合医療センター
パス整備数	156
パス適応数	956

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
(例)	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術パス	8	2009/10/1
(例)	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	2008/5/1
(例)	大腸がん	手術療法	結腸切除パス	6	2010/1/20
1	胃がん	手術療法	胃癌(全摘)	12	2007/10/01
2	胃がん	手術療法	胃空腸吻合術	1	2007/12/06
3	胃がん	手術療法	開腹幽門側胃切除術	21	2007/11/09
4	胃がん	手術療法	腹腔鏡下幽門側胃切除術	12	2007/10/01
5	肝がん	手術療法	肝拡大切除	0	2008/01/07
6	肝がん	手術療法	肝部分切除術	7	2007/11/27
7	肝がん	手術療法	肝門・上部胆管切除	6	2008/01/17
8	肝がん	手術療法	肝葉切除術	0	2007/11/27
9	外科がん	化学療法	【外来】Weeklyパクリタキセル療法	0	2008/01/21
10	外科がん	化学療法	【外来】ジェムザール療法	0	2008/01/21
11	外科がん	化学療法	【外来】タキソテール療法	0	2008/01/21
12	外科がん	化学療法	【外来】ハーセプチン療法	0	2008/01/17
13	外科がん	化学療法	1週間化学療法(6~8日間)	24	2007/11/28
14	外科がん	化学療法	1日化学療法	0	2007/11/20
15	外科がん	化学療法	2泊3日化学療法	16	2007/11/30
16	外科がん	手術療法	ハルトマン術	4	2007/12/11
17	外科がん	処置	プロビアックカテーテル挿入	0	2007/12/20
18	外科がん	処置	ポート挿入	11	2007/12/20
19	結腸がん	手術療法	開腹結腸切除術	22	2007/08/01
20	結腸がん	手術療法	腹腔鏡下 結腸切除術	10	2007/12/13
21	甲状腺がん	手術療法	甲状腺全摘・亜全摘・リンパ郭	3	2007/10/01
22	甲状腺がん	手術療法	甲状腺葉・部分切除術用	0	2007/11/16
23	縦隔腫瘍	手術療法	開胸縦隔腫瘍摘出術	1	2007/12/11
24	縦隔腫瘍	手術療法	胸腔鏡下縦隔腫瘍摘出術	4	2007/11/21
25	食道がん	手術療法	食道三領域郭清術	4	2008/01/10
26	食道がん	手術療法	食道二領域郭清術	0	2007/12/12
27	食道がん	放射線・化学療法	食道癌放射線治療と化学療法	9	2008/01/08
28	隣がん	手術療法	隣体・尾部切除術	0	2008/01/08
29	隣がん	手術療法	隣頭十二指腸切除術	3	2008/01/17
30	大腸がん	化学療法	3泊4日大腸癌化学療法	5	2007/11/30

31	胆肝がん	手術療法	胆管中部・下部・乳頭部切除術	0	2008/01/17
32	直腸がん	手術療法	開腹低位前方切除術	4	2007/12/14
33	直腸がん	手術療法	腹腔鏡下 低位前方切除術	4	2007/11/27
34	乳がん	化学療法	【外来】パクリタキセル療法(乳癌)	0	2008/01/21
35	乳がん	手術療法	乳房再建手術 腹直筋皮弁	1	2008/01/08
36	乳がん	手術療法	乳房切除術用	13	2007/11/20
37	乳がん	手術療法	乳房部分切除・広背筋皮弁再建術	1	2007/11/20
38	肺がん	手術療法	開胸肺全摘術	0	2007/12/11
39	肺がん	手術療法	胸腔鏡下肺部分切除	6	2007/11/21
40	肺がん	手術療法	胸腔鏡補助下肺葉切除術	0	2007/12/11
41	乳がん	手術療法	乳房再建広背筋皮弁術	0	2007/11/20
42	乳がん	手術療法	乳房再建腹直筋皮弁術	0	2007/12/06
43	乳がん	手術療法	乳輪乳頭形成	0	2007/08/01
44	皮膚がん	化学療法	化学療法(レジメンは別に適用を)	0	2007/11/23
45	皮膚がん	手術療法	外陰部ページェット手術(STSG)	0	2007/12/06
46	皮膚がん	手術療法	腫瘍切除・マイクロ	0	2008/01/08
47	皮膚がん	手術療法	腫瘍切除・植皮術	0	2008/01/08
48	皮膚がん	手術療法	腫瘍切除・植皮術(下肢)	2	2008/01/09
49	皮膚がん	手術療法	腫瘍摘出・切除術(腰麻)	2	2007/08/01
50	皮膚がん	手術療法	腫瘍摘出・切除術(全麻)	6	2007/08/01
51	皮膚がん	手術療法	腫瘍摘出前日入院局麻	1	2007/08/01
52	皮膚がん	手術療法	腫瘍摘出当日入院局麻	9	2007/08/01
53	陰部ページェット	手術療法	陰部ページェット手術	0	2007/12/06
54	子宮がん	手術療法	円錐切除術	4	2008/01/09
55	子宮がん	手術療法	広汎子宮全摘術	8	2008/02/05
56	子宮がん	手術療法	腹式子宮全摘	13	2007/11/28
57	卵巣がん	手術療法	腹式付属器摘出術	11	2007/11/20
58	産婦人科がん	化学療法	化学療法	80	2008/01/15
59	産婦人科がん	化学療法	化学療法(3weekや一発投与)	0	2008/01/15
60	産婦人科がん	化学療法	化学療法(weekly TC)	0	2008/01/15
61	産婦人科がん	化学療法	化学療法(アクプラ)	0	2008/01/15
62	産婦人科がん	化学療法	化学療法延期	0	2008/01/15
63	産婦人科がん	手術療法	婦人科悪性腫瘍手術	0	2007/11/20
64	産婦人科がん	手術療法	腹腔鏡下手術(ラパロ)	23	2007/11/16
65	口腔がん	化学療法	化学療法(口腔外科)	4	2007/11/11
66	口腔がん	化学療法	化学療法(動注)(口腔外科)	4	2007/12/08
67	口腔がん	手術療法	悪性腫瘍術前検査(口腔外科)	4	2007/12/18
68	口腔がん	手術療法	顎骨内腫瘍・嚢胞摘出(局麻)	0	2007/11/08
69	口腔がん	手術療法	顎骨内嚢胞症	5	2007/08/01
70	口腔がん	手術療法	顎骨嚢胞(金曜入院火曜オペ)	0	2007/08/01

71	口腔がん	手術療法	顎変形症(下顎)	16	2007/11/16
72	口腔がん	手術療法	顎変形症(上下顎)	26	2007/11/16
73	口腔がん	手術療法	頸部郭清術(気切あり)	02	2007/11/12
74	口腔がん	手術療法	頸部郭清術(気切なし)	08	2007/12/08
75	口腔がん	手術療法	腫瘍・嚢胞摘出術(全麻)	38	2007/12/08
76	口腔がん	手術療法	腫瘍切除・郭清術(気切あり)	01	2007/12/11
77	口腔がん	手術療法	腫瘍摘出・郭清術(気切なし)	01	2007/12/11
78	口腔がん	手術療法	舌腫瘍(部分切除・気切なし)	41	2007/11/01
79	口腔がん	放射線・化学療法	放射線療法・化学療法少量(口外)	01	2007/11/11
80	口腔がん	放射線・化学療法	放射線療法併用動注化学療法(口外)	18	2007/12/08
81	口腔がん	放射線療法	放射線療法(口腔外科)	61	2007/11/11
82	顎下腺がん	手術療法	顎下腺全摘術	48	2007/12/18
83	喉頭がん	手術療法	喉頭全摘術【改訂】	93	2007/12/03
84	耳下腺がん	手術療法	耳下腺腫瘍摘出術	28	2007/12/18
85	耳鼻咽喉・頭頸部外科がん	化学療法	化学療法(1クール目)	147	2007/12/07
86	耳鼻咽喉・頭頸部外科がん	化学療法	化学療法(1クール目+2クール目)	17	2007/12/07
87	耳鼻咽喉・頭頸部外科がん	化学療法	化学療法(2クール目)	07	2007/12/07
88	耳鼻咽喉・頭頸部外科がん	手術療法	内視鏡下鼻副鼻腔手術(局麻)	62	2007/11/22
89	耳鼻咽喉・頭頸部外科がん	手術療法	内視鏡下鼻副鼻腔手術(全麻)	104	2007/11/14
90	耳鼻咽喉・頭頸部外科がん	手術療法	頸部リンパ節生検(局麻)	07	2008/01/07
91	耳鼻咽喉・頭頸部外科がん	手術療法	頸部郭清術	411	2007/11/21
92	耳鼻咽喉・頭頸部外科がん	放射線療法	放射線療法(改訂)	147	2007/12/07
93	胃がん	手術療法	消内胃EMR・ポリープ切除	03	2007/12/03
94	胃がん	手術療法	消内-胃ESDパス	173	2007/12/03
95	肝がん	検査	消内-肝生検パス	200	2007/11/20
96	肝がん	手術療法	消内-PEIT(週2回、計4回版)パス	09	2007/11/09
97	肝がん	手術療法	消内-PEITパス	319	2007/11/09
98	肝がん	手術療法	消内-RFAパス	93	2007/12/03
99	肝がん	処置	消内-TAEパス	220	2007/11/20
100	肝がん	処置	消内-TAEパス(金曜日入院)	90	2007/11/20
101	肝がん	処置	消内-TAIパス	60	2007/11/20
102	肝がん	処置	消内-TAIパス(金曜日入院)	10	2007/11/20
103	消化器がん	化学療法	【外来】ジェムザール(消化器内科)	01	2008/01/21
104	消化器がん	化学療法	【外来】ドセタキセル、ネダプラチンbiweekly	01	2008/01/21
105	消化器がん	化学療法	消内化学療法3泊4日	00	2007/11/30
106	食道がん	手術療法	消内-食道ESDパス	23	2007/12/03
107	大腸がん	手術療法	消内-大腸ESDパス(火曜日施行)	04	2007/12/04
108	大腸がん	手術療法	消内-大腸ESDパス(木曜日施行)	44	2007/12/04
109	一般がん	処置	がん性疼痛コントロール	16	2008/01/16
110	一般がん	放射線療法	緩和的放射線療法(骨転移)	27	2007/12/07

111	一般がん	放射線療法	緩和的放射線療法(脳転移)	0	2007/12/07
112	肺がん	化学療法	イレッサ	11	2007/11/26
113	肺がん	化学療法	タルセバ	0	2008/02/23
114	肺がん	化学療法	化学療法/8日目～(7日間)	83	2007/11/27
115	肺がん	化学療法	化学療法/前日～7日目(8日間)	27	2007/11/27
116	肺がん	化学療法	化学療法後:ランクBパス	5	2007/11/27
117	肺がん	化学療法	化学療法後:ランクC1パス	11	2007/11/27
118	肺がん	化学療法	化学療法後:ランクC2パス	3	2007/11/27
119	肺がん	化学療法	外来化学療法(NSCLC)	26	2008/04/07
120	肺がん	化学療法	外来化学療法(SCLC)	6	2008/04/07
121	腎盂・尿管がん	手術療法	後腹膜鏡視下腎尿管全摘(火)	0	2007/08/01
122	腎盂・尿管がん	手術療法	後腹膜鏡視下腎尿管全摘(火)Lt	0	2007/08/01
123	腎盂・尿管がん	手術療法	後腹膜鏡視下腎尿管全摘(木)	2	2007/08/01
124	腎盂・尿管がん	手術療法	後腹膜鏡視下腎尿管全摘(木)Lt	0	2007/08/01
125	腎盂・尿管がん	手術療法	腎尿管全摘徐術(火)	0	2007/08/01
126	腎盂・尿管がん	手術療法	腎尿管全摘徐術(木)	0	2007/08/01
127	腎がん	手術療法	laparo腎摘入治(火)	0	2007/08/01
128	腎がん	手術療法	laparo腎摘入治(木)	0	2007/08/01
129	腎がん	手術療法	後腹膜鏡下腎摘除術(火)	1	2007/08/01
130	腎がん	手術療法	後腹膜鏡下腎摘除術(火)Lt	0	2007/08/01
131	腎がん	手術療法	後腹膜鏡下腎摘除術(木)	1	2007/08/01
132	腎がん	手術療法	後腹膜鏡下腎摘除術(木)Lt	0	2007/08/01
133	腎がん	手術療法	後腹膜鏡下腎部分切除術(火)	0	2007/08/01
134	腎がん	手術療法	後腹膜鏡下腎部分切除術(火)Lt	2	2007/08/01
135	腎がん	手術療法	後腹膜鏡下腎部分切除術(木)	0	2007/08/01
136	腎がん	手術療法	後腹膜鏡下腎部分切除術(木)Lt	0	2007/08/01
137	腎がん	手術療法	腎摘(経腰、火)	0	2007/08/01
138	腎がん	手術療法	腎摘(経腰、木)	0	2007/08/01
139	腎がん	手術療法	腎摘(経腹、火)	3	2007/08/01
140	腎がん	手術療法	腎摘(経腹、木)	0	2007/08/01
141	腎がん	手術療法	腎部分切除術OPEN(火)	0	2007/08/01
142	腎がん	手術療法	腎部分切除術OPEN(木)	1	2007/08/01
143	前立腺がん	検査	前立腺生検	43	2009/04/01
144	前立腺がん	手術療法	LRP(火)	0	2010/07/01
145	前立腺がん	手術療法	LRP(木)	2	2010/07/01
146	前立腺がん	手術療法	前立腺全摘除術(火)	6	2007/08/01
147	前立腺がん	手術療法	前立腺全摘除術(火)日曜入院	0	2010/07/07
148	前立腺がん	手術療法	前立腺全摘除術(木)	7	2007/08/01
149	泌尿器科がん	化学療法	化学療法ベースパス	0	2007/11/28
150	泌尿器科がん	化学療法	化学療法ベースパスv2	36	2010/04/02

151	膀胱がん	手術療法	TUR-BT	51	2009/07/30
152	膀胱がん	手術療法	回腸導管(火)	51	2007/08/01
153	膀胱がん	手術療法	回腸導管(木)	21	2007/08/01
154	膀胱がん	手術療法	尿管皮膚瘻(火)	01	2007/08/01
155	膀胱がん	手術療法	尿管皮膚瘻(木)	01	2007/08/01
156	一般がん	化学療法	【共通】化学療法による食欲不振	07	2007/12/27
157					

化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会

期間 平成22年 4月 1日 ～ 8月31日

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

名称	構成メンバー(◎:委員長)	備考
(例)レジメン管理委員会	◎副院長、薬物療法部長、薬剤部長、通院治療センター長、副看護部長、腫瘍内科医長	
抗がん剤レジメン審査部会	◎内科主任部長 ○外科主任部長 耳鼻咽喉・頭頸部外科主任部長 産婦人科部長 消化器内科医長 泌尿器科診療主任 副薬局長 薬局製剤グループ主査 薬局調剤グループ主査 副看護師長	

開催実績(開催日)	委員会名称	承認レジメン数
例:4月10日	レジメン管理委員会	5
4月12日	抗がん剤レジメン審査部会	7
4月21日	抗がん剤レジメン審査部会	1
6月3日	抗がん剤レジメン審査部会	1
6月7日	抗がん剤レジメン審査部会	1
6月14日	抗がん剤レジメン審査部会	7
6月16日	抗がん剤レジメン審査部会	1
6月28日	抗がん剤レジメン審査部会	1
8月9日	抗がん剤レジメン審査部会	0

外来化学療法室における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する 医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 平成22年9月1日時点

病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

職種	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任 /兼任	化学療法 の経験 年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例) 医師	腫瘍内科	常勤	専従	20	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1 医師	内科	常勤	兼任	25	日本内科学会認定医(1992年) 日本呼吸器学会専門医/指導医(2006年) 日本臨床腫瘍学会暫定指導医(2005年)
2 医師	消化器内科	常勤	兼任	27	日本内科学会認定専門医(2005年) 日本消化器病学会専門医(1991年) 日本肝臓学会指導医(2000年)
3 医師	消化器内科	非常勤	兼任	22	日本内科学会指導医(1997年) 日本消化器病学会指導医(2006年) 日本肝臓学会専門医(2005年)
4 医師	消化器内科	常勤	兼任	24	日本内科学会認定医(2005年) 日本消化器病学会指導医(2003年) 日本肝臓学会指導医(2002年)
5 医師	消化器内科	常勤	兼任	12	日本内科学会専門医(2006年) 日本消化器病学会専門医(2005年) 日本肝臓学会専門医(2005年)
6 医師	消化器内科	常勤	専任	11	日本内科学会認定医(2001年) 日本消化器病学会専門医(2003年) 日本肝臓学会専門医(2006年)
7 医師	消化器内科	常勤	兼任	9	認定産業医(2003年)
8 医師	外科	常勤	兼任	32	日本臨床腫瘍学会暫定指導医(2005年) 日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年) 日本乳癌学会認定医(1995年)
9 医師	外科	常勤	兼任	27	日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年) 日本肝胆膵外科学会高度技能指導医(2008年) 日本乳癌学会認定医(1999年)
10 医師	外科	常勤	兼任	30	日本外科学会指導医(1999年) 日本乳癌学会専門医(1997年) 日本消化器外科学会指導医(1995年)
11 医師	外科	常勤	兼任	28	日本外科学会指導医(2005年) 日本胸部外科学会指導医(1999年) 日本消化器外科学会認定医(1991年)
12 医師	外科	常勤	兼任	21	日本外科学会専門医(2004年) 日本小児外科学会専門医(2003年)
13 医師	外科	常勤	専任	18	日本乳癌学会乳腺専門医(2007年) 日本臨床腫瘍学会暫定指導医(2005年) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年)
14 医師	外科	常勤	兼任	16	日本外科学会専門医(2002年) 日本がん治療認定医機構暫定教育医(2007年)

15	医師	外科	常勤	兼任	16 日本外科学会専門医(2002年)
16	医師	外科	常勤	兼任	14 日本外科学会専門医(2002年) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年)
17	医師	脳神経外科	常勤	兼任	27 日本脳神経外科学会認定専門医(1989年) 日本脳卒中学会認定専門医(2004年)
18	医師	脳神経外科	常勤	兼任	20 日本脳神経血管内治療学会認定専門医(2004年) 日本脳神経外科学会認定専門医(1996年) 日本脳卒中学会認定専門医(2004年)
19	医師	脳神経外科	常勤	兼任	12 日本脳神経外科学会専門医(2005年)
20	医師	産婦人科	常勤	兼任	20 日本産科婦人科学会指導医(1986年) 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医(2008年) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医(2008年)
21	医師	産婦人科	常勤	兼任	11 日本産科婦人科学会指導医(2003年) 母体保護法指定医(2006年)
22	医師	産婦人科	常勤	兼任	6
23	医師	小児科	常勤	兼任	32 日本小児科学会専門医(1990年)(対象部位なし) 胃腸科認定医(2007年) ICD認定医(2005年)
24	医師	小児科	常勤	兼任	10 日本小児科学会専門医(2004年)
25	医師	小児科	非常勤	兼任	6
26	医師	小児科	常勤	兼任	27 日本血液学会専門医(1995年)
27	医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科	常勤	兼任	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 頭頸部がん専門医暫定指導医
28	医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科	常勤	兼任	がん治療認定医
29	医師	形成外科	常勤	兼任	29 日本形成外科学会専門医(1987年)
30	医師	形成外科	常勤	兼任	12 日本形成外科学会専門医
31	医師	泌尿器科	常勤	兼任	27 日本泌尿器科学会認定専門医(1992年) 日本がん治療認定医機構認定暫定教育医(2007年) 日本がん治療認定医機構認定医(2008年)
32	医師	泌尿器科	常勤	兼任	24 日本泌尿器科学会認定専門医(1992年) 日本泌尿器科学会認定泌尿器腹腔鏡技能認定者(2007年) 日本泌尿器科学会／日本ES学会泌尿器腹腔鏡技

33	医師	泌尿器科	常勤	兼任		がん治療認定医
34	医師	泌尿器科	常勤	兼任		がん治療認定医
35	医師	泌尿器科	常勤	兼任	8	日本泌尿器科学会専門医(2006年)
36	医師	皮膚科	常勤	兼任	37	日本皮膚科学会専門医(1988年) 同 指導医(1988年)
37	医師	皮膚科	常勤	兼任	7	
38	医師	放射線治療科	常勤	兼任	14	日本医学放射線学会放射線科専門医(2003年) 日本放射線腫瘍学会認定医(2005年)
39	医師	歯科口腔外科	常勤	兼任	22	日本口腔外科学会専門医(2000年) 同 指導医(2004年)
40	医師	歯科口腔外科	常勤	兼任	11	
41	医師	歯科口腔外科	常勤	兼任	11	
42	薬剤師		常勤	専任	13	日本医療薬学会がん専門薬剤師(2010年)日本病院薬剤師会がん専門薬剤師(2008年)日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師(2008年)
43	薬剤師		常勤	専任	12	日本医療薬学会がん専門薬剤師(2010年)日本病院薬剤師会がん専門薬剤師(2008年)日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師(2007年)
44	看護師		常勤	専従	19	がん化学療法認定看護師(2008年)
45	看護師		常勤	専任	18	

○ 研修医は除くこと。

○ 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照。

○ 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	放射線治療科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	医師	放射線治療科	常勤	専従	14年	日本医学放射線学会放射線科専門医(2003 年)
2	医師					
3	医師					
4	医師					
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任:当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

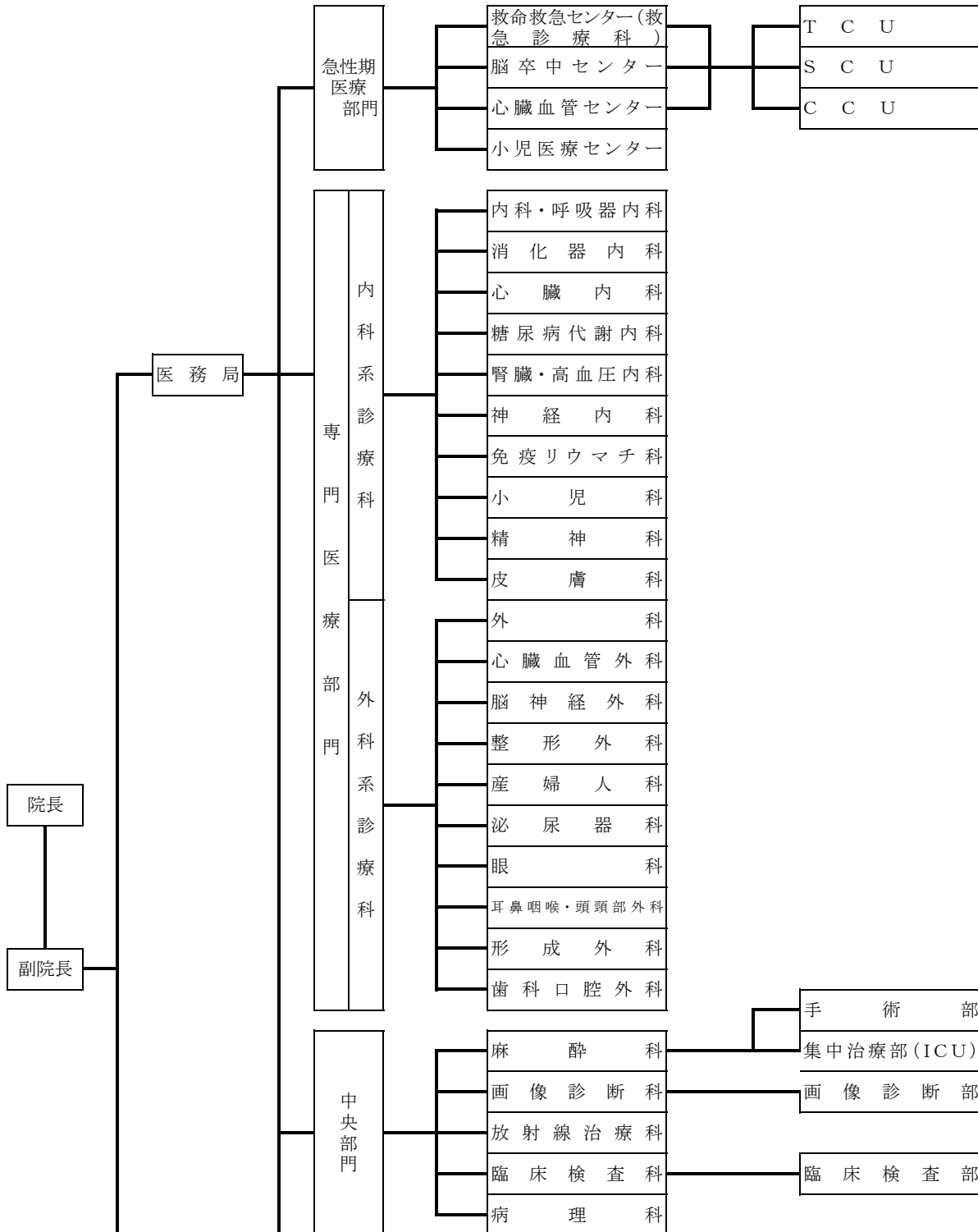
専従:当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

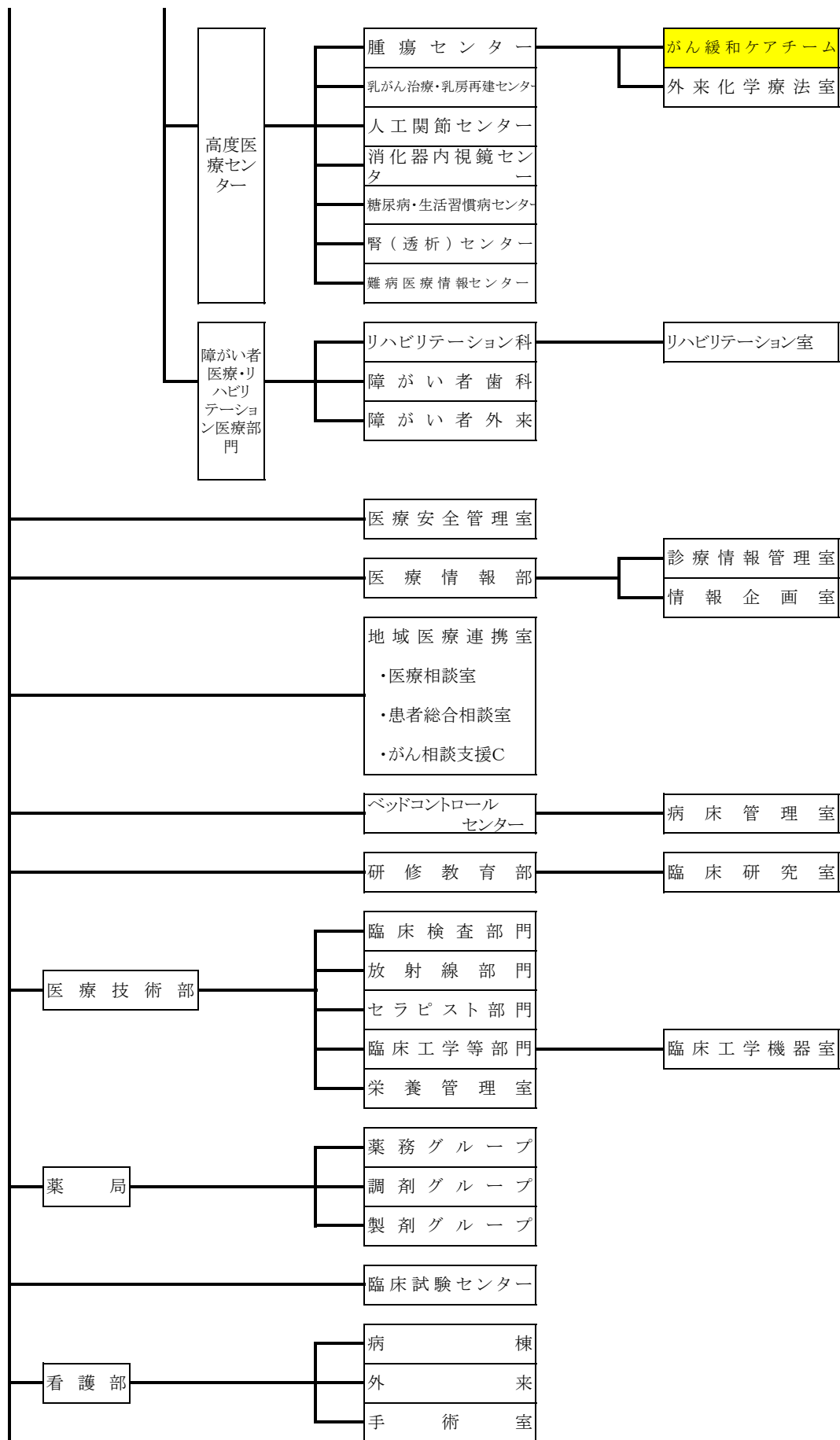
緩和ケアチームの組織・体制

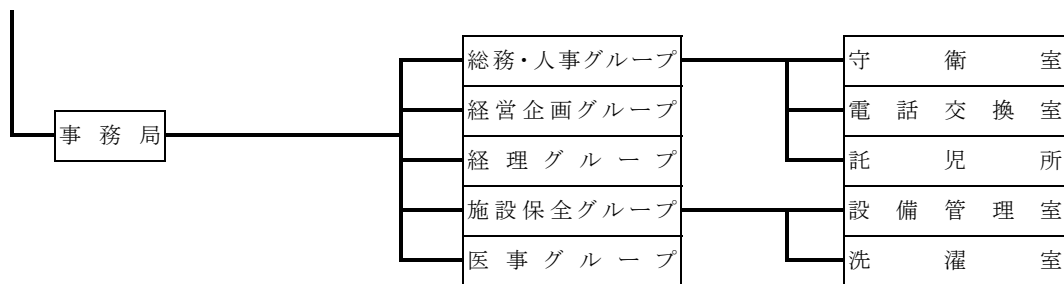
病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図

平成22年9月1日現在







緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

期間 平成22年9月1日時点

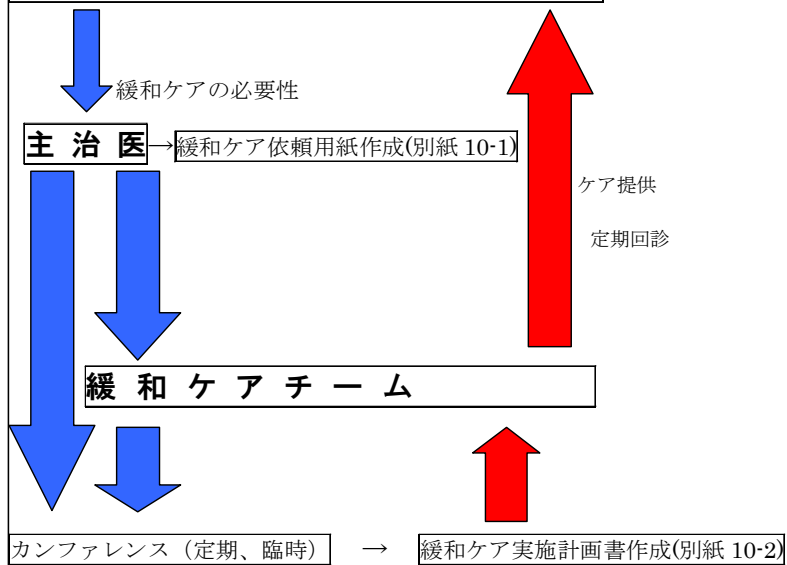
病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

- ① 各病棟にて緩和ケアが必要ながん患者が発生した場合、主治医は緩和ケアチームに診療を申し込む。
- ② 院内ネットワークシステム（電子カルテ）の緩和ケア依頼用紙（別紙10-1）に主として主治医が必要事項を記入し、緩和ケアチーム担当者に提出する。
- ③ 緩和ケアチームは緩和ケア回診を行い、主治医や病棟スタッフと協議し（電子カルテの）緩和ケア実施計画書（別紙10-2）に治療方針を入力する。
- ④ 緩和ケアチームは定期カンファレンス・緩和ケア回診を週1回行う。

入院がん患者(各病棟)



緩和ケア依頼用紙

別紙 10-1

患者氏名 _____ 年齢 _____ 男・女

主治医 _____ 病棟 _____

診断 1 _____ 診断 2 _____

診断 3 _____ 診断 4 _____

診断 5 _____ 診断 6 _____

問題点 痛み 呼吸困難 腹部膨満感 その他

全身倦怠感 精神的苦痛 嘔気・嘔吐

浮腫 便秘 不眠

経過

依頼内容 痛みのコントロール 排便コントロール その他...

全身倦怠感の除去 嘔気・嘔吐のコントロール

腹部膨満感の除去 呼吸困難の除去

睡眠コントロール 家族への病状告知

精神的苦痛の除去 患者への病状告知

浮腫の軽減 セデーション

患者告知レベル A B C D 家族告知レベル A B C D

* 告知レベル

A: 病名、現在の病状、予後すべて伝えていない

B: 病名は伝えているが、現在の病状、予後は伝えていない

C: 病名、現在の病状は伝えているが、予後は伝えていない

D: 病名、現在の状況、予後すべて正確に伝えている

緩和ケア実施計画書

病棟 _____ 科名 _____ 実施日 _____

<主訴（動機）>

<診断名>

<治療内容>

 外科的治療 術式： _____ 放射線治療 部位： _____ 化学療法 主な薬剤： _____

<身体症状>

 なしa 疼痛

この一週間に感じた最も強い痛みはどの位でしたか？

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10b-1 呼吸困難-2 全身倦怠感-3 食欲不振-4 悪心・嘔吐-5 腹部膨満感-6 便秘・下痢-7 排尿障害-8 リンパ浮腫-9 嚥下困難-10 胸水・腹水-11 その他（具体的に）

<精神症状>

 なしc-1 不安-2 抑うつ-3 イライラ-4 せん妄-5 睡眠障害-6 眠気

-7 その他（具体的に）

<身体活動状況>

 0：問題なし 1：軽度の症状があるが、軽い労働は可能 2：時に介助が必要、一日の半分以上は起きている 3：しばしば介助が必要、一日の半分以上臥床している 4：常に介助が必要、終日臥床している

<現在の処方>

<日常生活動作>

- 食 事：問題なし 不可 要介助
移 動：歩行可 介助歩行 車椅子 ストレッチャー
排 泄：問題なし ポータブルトイレ バルンカテーテル留置 その他()
ルート類：IVH 末梢静脈ルート ドレーン(種類…)
酸素吸入 その他 ()

<その他の問題>

- 家族
経済
仕事・交友など
その他 (具体的に)

※左記の身体症状および精神症状の項目より緩和を希望する項目を選択する

本人の希望 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b-1 <input type="checkbox"/> b-2 <input type="checkbox"/> b-3 <input type="checkbox"/> b-4 <input type="checkbox"/> b-5 <input type="checkbox"/> b-6 <input type="checkbox"/> b-7 <input type="checkbox"/> b-8 <input type="checkbox"/> b-9 <input type="checkbox"/> b-10 <input type="checkbox"/> b-11 <input type="checkbox"/> c-1 <input type="checkbox"/> c-2 <input type="checkbox"/> c-3 <input type="checkbox"/> c-4 <input type="checkbox"/> c-5 <input type="checkbox"/> c-6 <input type="checkbox"/> c-7 <input type="checkbox"/> その他 ()
家族の希望 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b-1 <input type="checkbox"/> b-2 <input type="checkbox"/> b-3 <input type="checkbox"/> b-4 <input type="checkbox"/> b-5 <input type="checkbox"/> b-6 <input type="checkbox"/> b-7 <input type="checkbox"/> b-8 <input type="checkbox"/> b-9 <input type="checkbox"/> b-10 <input type="checkbox"/> b-11 <input type="checkbox"/> c-1 <input type="checkbox"/> c-2 <input type="checkbox"/> c-3 <input type="checkbox"/> c-4 <input type="checkbox"/> c-5 <input type="checkbox"/> c-6 <input type="checkbox"/> c-7 <input type="checkbox"/> その他 ()
治療目標 (優先順に) ① ② ③

<緩和治療計画・ケア計画>

主治医
病棟看護師
緩和ケア医
(身体症状担当)
緩和ケア医
(精神症状担当)
緩和ケア看護師
緩和ケア薬剤師

説明日 平成 年 月 日

本人または代理人の署名

外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 平成22年9月1日時点

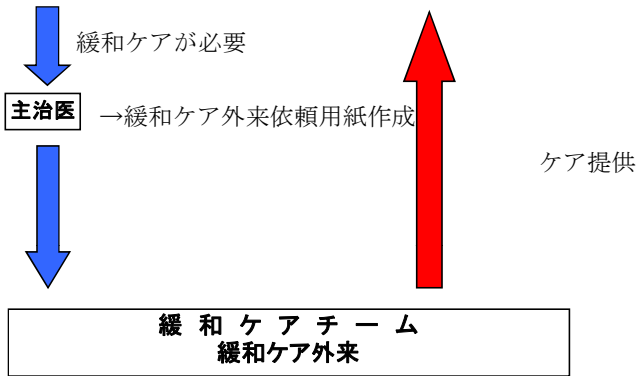
病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

緩和ケア外来の診療日時等がわかる外来担当表を添付してください。

	月	火	水	木	金
緩和ケア外来担当医			吉田(外科) 14:00~16:00		

- ① 外来・地域医療連携室にて緩和ケアが必要ながん患者が発生した場合、主治医は緩和ケアチームに診療を申し込む。
- ② 院内ネットワークシステムの緩和ケア外来依頼用紙に主治医が必要事項を入力し、緩和ケアチーム担当者に提出する。
- ③ 緩和ケアチームは主治医や外来スタッフと協議し緩和ケア実施計画書に治療方針を入力する。
- ④ 必要に応じた臨時回診を行い、在宅がん患者の医療相談や退院後の継続した緩和ケアを提供する。

外来がん患者(各科外来・地域連携)



カンファレンス（定期、臨時） → 緩和ケア実施計画書作成

緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績

(別紙13)

期間 平成22年 6月 1日 ~ 7月31日

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

2ヶ月分の総数

9

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

	開催日	時間 (分)	検討 症例数	参加 人数	主診療科名	主診療科以外の 参加者の診療科名	参加者の職名・職種
(例)	7月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー
1	6月1日	60	1	11	消化器内科	外科、精神科	外科部長、消化器内科医、精神科医、臨床心理士、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー
2	6月8日	60	2	15	外科	消化器内科、精神科、婦人科	外科部長、消化器内科医、精神科医、産婦人科医、臨床心理士、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー
3	6月15日	60	1	15	外科	消化器内科、精神科、婦人科	外科部長、消化器内科医、精神科医、産婦人科医、臨床心理士、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー
4	6月22日	90	4	15	口腔外科	消化器内科、精神科、外科	外科部長、消化器内科医、精神科医、形成外科医、臨床心理士、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー
5	6月29日	90	4	15	救急診療科	消化器内科、精神科、外科、婦人科	外科部長、消化器内科医、精神科医、産婦人科医、臨床心理士、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー
6	7月6日	90	4	18	外科	消化器内科、精神科、婦人科	外科部長、消化器内科医、精神科医、産婦人科医、臨床心理士、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー
7	7月13日	60	1	15	耳鼻科	消化器内科、外科、精神科	外科部長、消化器内科医、精神科医、臨床心理士、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー
8	7月20日	60	1	12	外科	消化器内科、精神科	外科部長、消化器内科医、精神科医、臨床心理士、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー

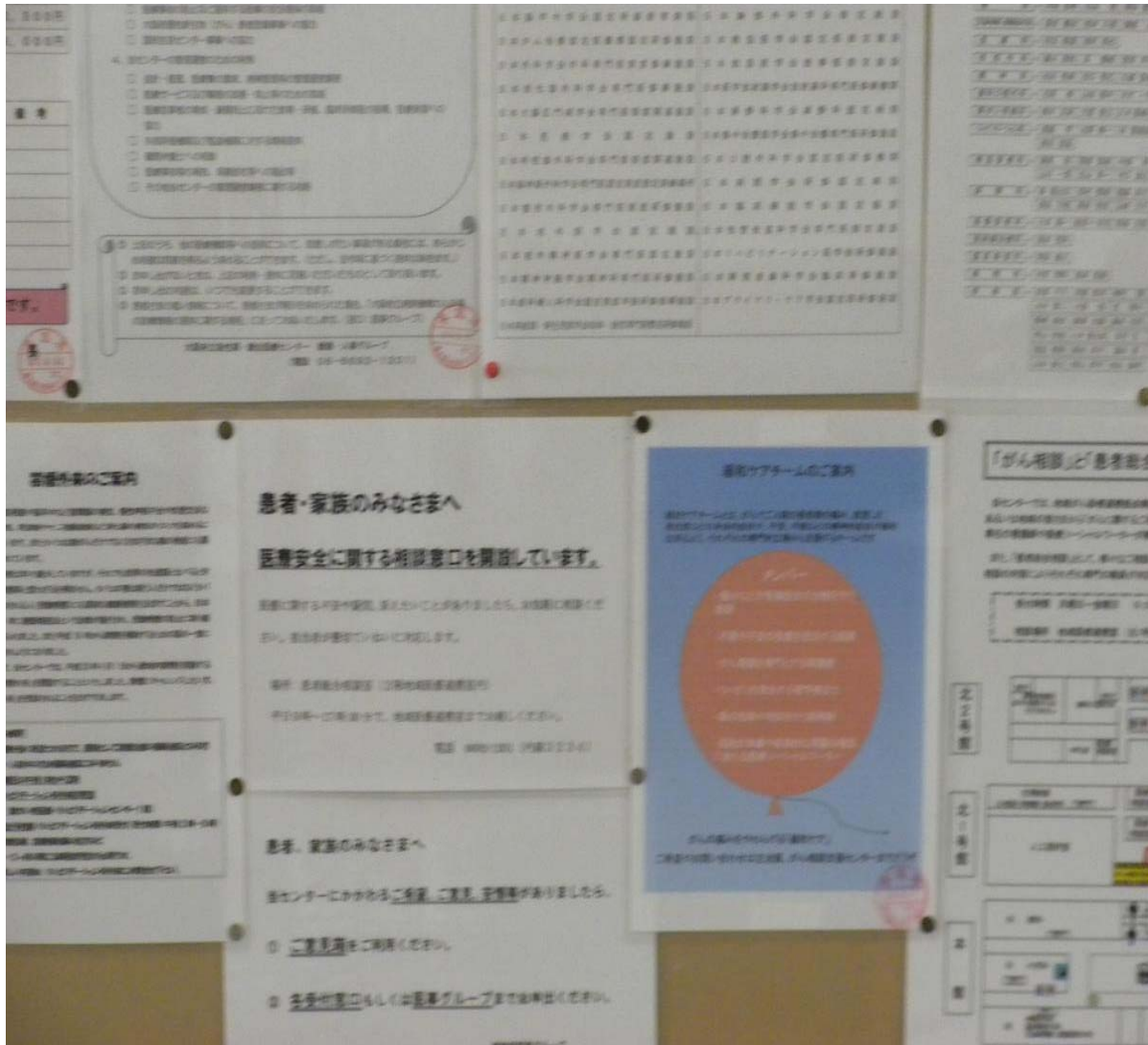
9	7月27日	60	1	15	消化器内科	外科、婦人科、精神科	外科部長、消化器内科医、産婦人科医、精神科医、臨床心理士、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー
10							
11							
12							

緩和ケアに関する広報

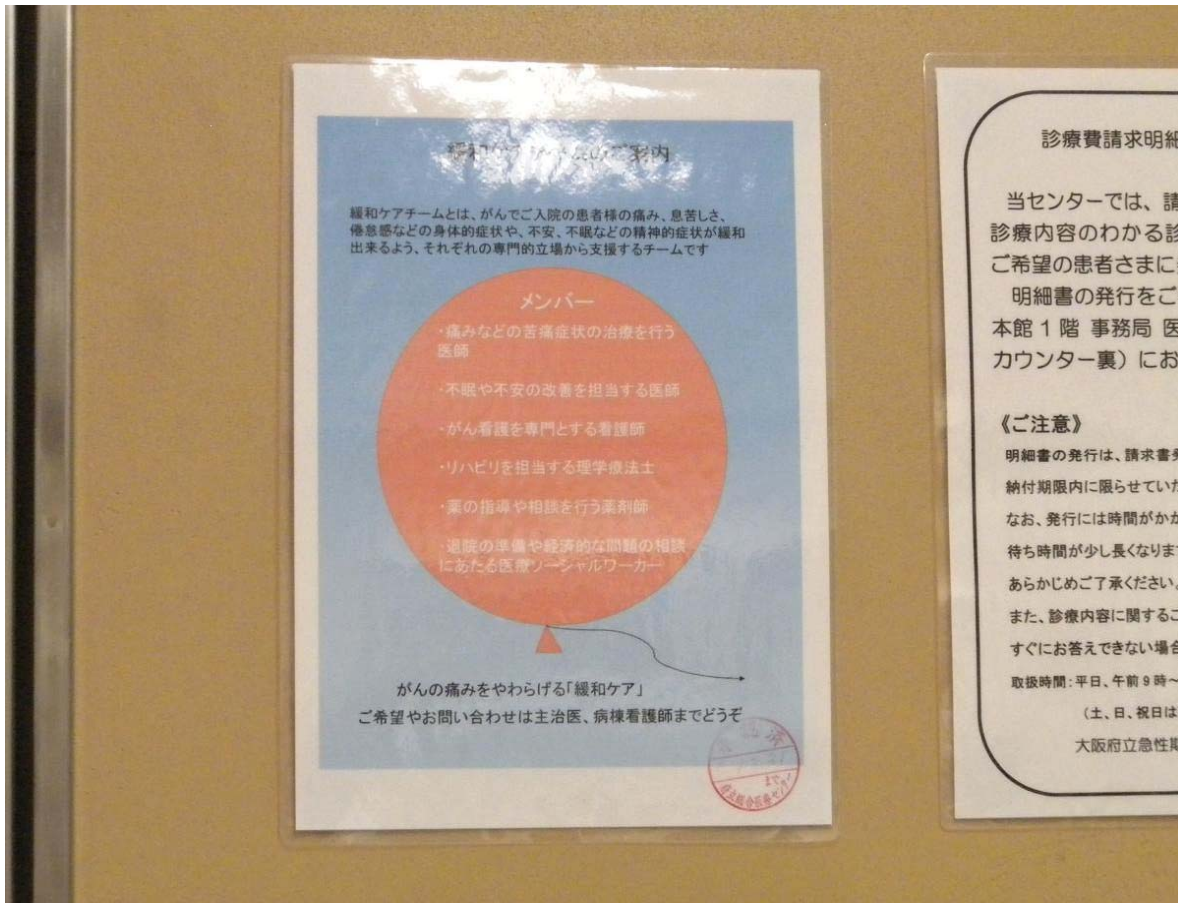
病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等(写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を示すこと)

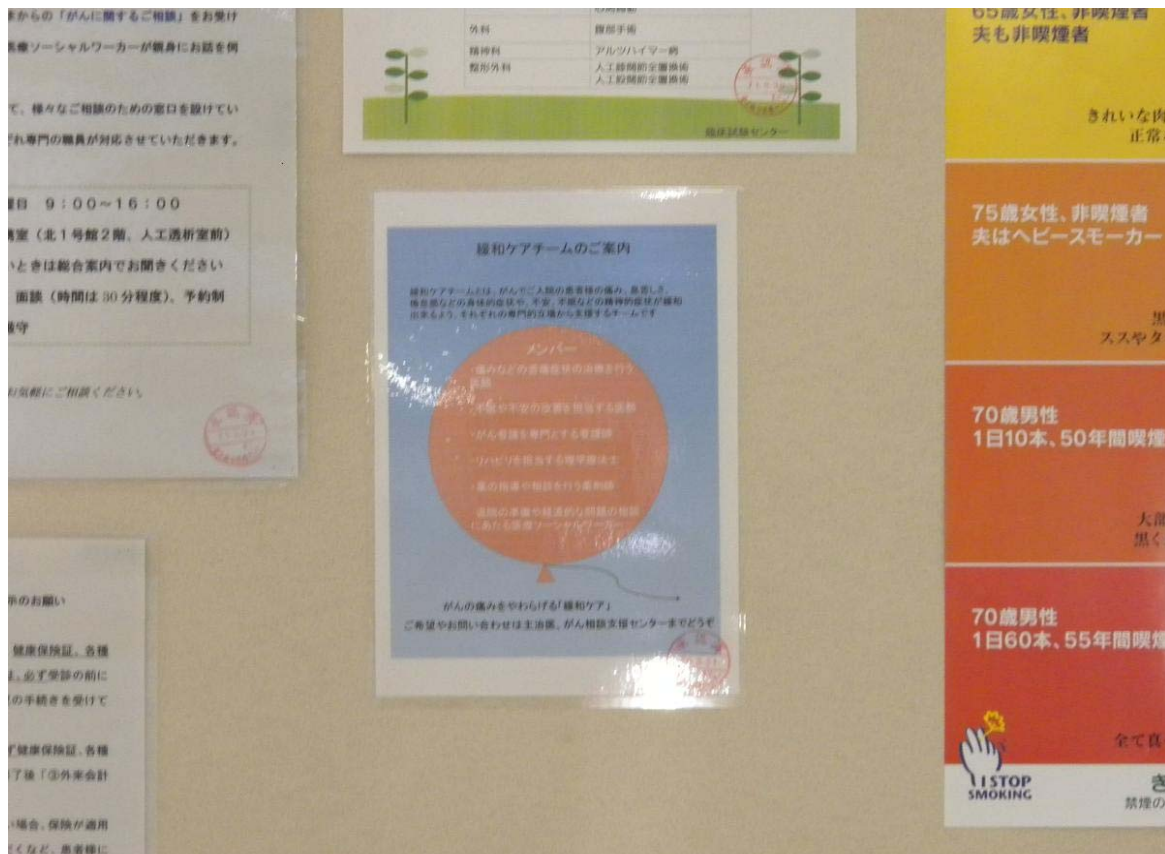
玄関ロビー



各病棟看護ステーション前掲示板：16箇所



2階外来ロビー



緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する
身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、
看護師(*)の専門性

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

チームでの役割	診療科(医師のみ記載)	常勤/非常勤	専従/専任/兼任	緩和ケアの経験年数	専門医等資格
(例) 身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1 身体症状の緩和に携わる医師	外科	常勤	兼任	33年	日本外科学会指導医(1999年) 同 専門医(2002年)
2 身体症状の緩和に携わる医師	外科	常勤	兼任	21年	日本外科学会専門医(2004年) 日本小児外科学会専門医(2003年)
3 身体症状の緩和に携わる医師	消化器内科	常勤	兼任	24年	日本内科学会認定医(2005年) 日本消化器病学会指導医(2003年)
4 身体症状の緩和に携わる医師	産婦人科	常勤	兼任	23年	日本産科婦人科学会指導医(1986年) 日本周産期学会暫定指導医(2006年)
5 精神症状の緩和に携わる医師	精神科	常勤	兼任	20年	日本老年精神医学会専門医(年) 精神保健指定医(年)
6 精神症状の緩和に携わる医師	精神科	常勤	兼任	5年	
7 身体症状の緩和に携わる医師	麻酔科	常勤	兼任	6年	日本麻酔科学会麻酔科専門医(2007年)
8 身体症状の緩和に携わる医師	泌尿器科	常勤	専任		
9 身体症状の緩和に携わる医師	泌尿器科	常勤	兼任		
10 身体症状の緩和に携わる医師	形成外科	常勤	兼任		
11 看護師		常勤	専任	12年	がん緩和ケア認定看護師
12 看護師		常勤	兼任	17年	
13 看護師		常勤	兼任	22年	
14 看護師		常勤	兼任	22年	
15 看護師		常勤	兼任	10年	
16 看護師		常勤	兼任	8年	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

* 緩和ケアチームの看護師については、緩和ケアに従事する十分な時間が確保された者が、日常的に院内の全病棟を横断的に活動することにより、病院全体で専門的な緩和ケアを提供する役割を担うものである。病棟ごとに配置する緩和ケア担当看護師(いわゆる「リンクナース」)を、記載しないようにすること。

病理診断について他の医療機関から協力によって対応できる体制

平成22年1月から12月について記載

病院名 阪府立急性期・総合医療センター

	病理診断について協力をうける医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	自院において対応		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において病理診断を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

	職種	診療科	常勤 /非常勤	専従/専 任/兼任	対象領域の 経験年数	専門医等資格
(例)	医師	病理診断科	常勤	専従	20年	〇〇学会認定医(2002年)、 同 専門医(2006年)
1	医師	病理科	常勤	専従	26年	日本病理学会認定病理専門医(1989年)、同専門医 研修指導医(2006年)、日本臨床細胞学会細胞診専
2	医師	病理科	常勤	専従	5年	
3	医師	病理科	非常勤	専従	3年	
4	医師	病理科	非常勤	専従	23年	日本病理学会認定口腔病理専門医(1996年)
5	医師					
6	医師					
7	医師					
8	医師					
9	医師					
10	医師					
11	医師					
12	医師					
13	医師					
14	医師					
15	医師					
16	医師					
17	医師					
18	医師					
19	医師					
20	医師					

専任:当該療法の実施を専ら担当していることをいう。この場合において「専ら担当している」とは、担当者となっていればよいものとし、その他診療を兼任していても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも5割以上、当該療法に従事している必要があるものとする。

専従:当該療法の実施日において、当該療法に専ら従事していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、その就業時間の少なくとも8割以上、当該療法に従事していることをいう。

地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

平成22年6～7月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数

	連携した医療機関数	他医療機関からの受け入れ件数	他医療機関への紹介件数
(例)	25	80	90
	185	194	123

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
(例)	〇〇診療所	2	4
1	井谷医院	4	0
2	宇野耳鼻咽喉科	1	0
3	横田クリニック	1	0
4	岡部内科	1	0
5	岡本クリニック	2	0
6	安藤医院	0	1
7	越川病院	0	1
8	岡山大学医学部・歯学	0	1
9	何クリニック	1	2
10	宮本医院	0	1
11	協立温泉病院	0	1
12	加賀屋診療所	1	0
13	加藤クリニック	1	0
14	加納歯科医院	1	0
15	笠原レディースクリニック	1	0
16	吉田医院	1	0
17	吉田医院	1	0
18	吉田医院	1	0
19	久我医院	1	0
20	久保歯科医院	1	0
21	京都大学医学部附属病院	1	1
22	橋村内科クリニック	1	0
23	橋中診療所	0	1
24	近畿中央胸部疾患センター	2	0
25	近森診療所	1	0
26	近畿大学医学部奈良病	0	1
27	金岡中央病院	0	1
28	熊谷内科クリニック	1	0
29	敬節クリニック	1	0
30	桂医院	1	0

31	桂診療所	1	0
32	隈病院	0	2
33	古志医院	3	1
34	古川皮膚科・形成外科	1	0
35	公立八鹿病院	1	0
36	高島内科クリニック	1	0
37	黒田耳鼻科	1	0
38	佐久間クリニック	1	0
39	佐竹医院	4	1
40	財団法人 結核予防会大阪府支部 大阪病院	1	0
41	阪堺病院	0	1
42	阪南中央病院	1	0
43	阪和住吉総合病院	3	1
44	阪和第二住吉病院	0	1
45	阪和第二泉北病院	0	1
46	桜橋医誠会クリニック	1	0
47	三好クリニック	1	0
48	三木整形外科内科	1	0
49	山下クリニック	1	0
50	山口クリニック	1	0
51	山本医院	1	0
52	山本第三病院	3	0
53	四天王寺病院	0	1
54	市立貝塚病院	1	0
55	市立堺病院	1	1
56	市立吹田市民病院	9	3
57	思恩クリニック	1	0
58	糸氏医院	1	0
59	七條医院	1	1
60	酒井診療所	1	0
61	住吉区保健福祉センター	1	0
62	住吉診療所	1	1
63	住吉民主診療所	1	1
64	春光会クリニック	0	1
65	小宮クリニック	0	1
66	小山医院	1	1
67	小曽根病院	0	1
68	小松原千鶴子診療所	1	0
69	小森内科	4	0
70	小豆沢クリニック	1	0
71	小野内科医院	1	0

72	小林医院	1	0
73	小澤診療所	2	2
74	松並診療所	1	1
75	松本医院	0	1
76	上野クリニック	0	2
77	新井クリニック	1	0
78	新居内科	1	0
79	森之宮病院	1	2
80	神戸市立中央市民病院	0	1
81	深津クリニック	1	0
82	神田内科クリニック	2	2
83	腎・泌尿器科伊藤クリニック	12	3
84	霜野医院	0	1
85	瀬田クリニック大阪	0	2
86	瀬田病院	0	1
87	清恵会三宝病院	0	1
88	聖授会OCATクリニック	0	1
89	西川在宅クリニック	0	1
90	西川婦人科内科クリニック	0	1
91	西本産婦人科	0	1
92	青木診療所	0	1
93	双葉クリニック	0	1
94	相原第二病院	0	3
95	西下消化器クリニック	1	0
96	西山産婦人科医院	1	0
97	西山内科医院	1	0
98	西村医院	2	0
99	西村診療所	2	0
100	西谷医院	1	0
101	石原医院	1	0
102	浅井耳鼻咽喉科	2	0
103	相澤クリニック	1	0
104	大阪がんクリニック	1	0
105	大阪市環境保健協会総合健診センター	1	0
106	大阪船員保険病院	1	0
107	大阪警察病院	0	1
108	大阪市立総合医療センター	0	2
109	大阪市立大学医学部附属病院	0	5
110	大阪歯科大学付属病院	0	1
111	大阪大学医学部附属病院	1	1

112	大阪府済生会吹田病院	1	0
113	大阪府済生会中津病院	1	0
114	大阪鉄道病院	0	1
115	大阪労災病院	0	9
116	沢井産婦人科	1	0
117	中井医院	1	0
118	中央市場管理棟井上診療所	1	0
119	中西クリニック	2	1
120	中川クリニック	1	0
121	中川医院	1	0
122	中田内科クリニック	4	3
123	中島医院	0	1
124	中島内科医院	1	0
125	中之島クリニック	1	0
126	中嶋医院	0	1
127	中尾クリニック	0	1
128	潮見クリニック	0	1
129	長吉総合病院	0	1
130	長居クリニック	0	1
131	長整形外科	2	1
132	津久野藤井クリニック	1	0
133	辻村内科循環器科	0	2
134	鶴ヶ丘東診療所	3	1
135	帝塚山病院	1	3
136	典子エンジェルクリニック	1	0
137	田村歯科医院	1	0
138	田中外科医院	1	0
139	田中耳鼻咽喉科	1	0
140	田中整形外科	1	0
141	刀根山病院	0	1
142	東住吉森本病院	7	3
143	東大阪市立総合病院	0	1
144	東和病院	0	1
145	湯川胃腸病院	0	3
146	啜生会脳神経外科病院	1	1
147	南クリニック	0	1
148	南港クリニック	2	0
149	南港病院	2	2
150	南大阪総合健診センター	1	0
151	南大阪病院	2	2

152	日本橋病院	0	1
153	二木整形外科	1	0
154	馬場記念病院	1	0
155	伯耆循環器・内科クリニック	2	0
156	柏原医院	2	0
157	畑内科クリニック	1	0
158	畠中医院	2	0
159	八尾市立病院	0	1
160	八尾徳洲会総合病院	1	0
161	美濃クリニック	1	0
162	桧垣歯科医院	1	0
163	蛭間医院	1	0
164	浜崎医院	1	0
165	富永記念病院	0	2
166	富永病院	1	1
167	武知小児科内科	1	0
168	福慈クリニック	1	0
169	平井医院	1	0
170	平尾病院	1	0
171	兵庫医科大学病院	0	1
172	豊川総合病院	1	0
173	北脇クリニック	1	0
174	味木歯科	1	0
175	木戸内科	1	0
176	勇村医院	1	0
177	浜田病院	0	1
178	平山整形外科	0	1
179	矢木クリニック	0	3
180	友愛会病院	5	1
181	林整形外科クリニック	1	0
182	林内科 循環器科	1	0
183	和泉丘病院	1	0
184	脇浜診療所	1	0
185	栢谷耳鼻咽喉科クリニック	1	0

病院名

〇〇病院

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

平成22年4月～8月の間に実施したもの

病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数	内容
(例1)	11月20日	2時間	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	50人	地域の医療機関での外来化学療法中の急変時等の緊急時の相談窓口や受入について
(例2)	12月7日	2時間	〇〇〇地域肺がん診療連携連絡部会	肺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	20人	肺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
2	4月22日	2時間	急性期・総合医療センターCPC	二次医療圏内	当センター講堂	78人	ショック状態で緊急入院となった高齢のネフローゼ症候群の一例
3	7月8日	1.75時	急性期・総合医療センター病診連携研修	二次医療圏内	天王寺 都ホテル	99人	・当センターの新生児医療及び小児救急の活動状況・当センターの周産期医療システムについて・新生児医療の現状と問題・胎児新生児期の成長を考える
4	7月15日	1.5時間	急性期・総合医療センターCPC	二次医療圏内	当センター講堂	78人	一旦改善した意識障害患者が血小板減少をきたした後に再燃した一例
5	7月15日	1.5時間	急性期・総合医療センター病診連携研修	二次医療圏内	天王寺 都ホテル	106人	・糖尿病地域連携パスの概要・CKD地域連携パスの概要・これからのCKD治療
6							
7							
8							
9							
10							
11							

5大がん及び5大がん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、
手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師による
セカンドオピニオンを提示する体制

期間 平成22年9月1日時点

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容		
1	セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している	いいえ
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している	いいえ
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	いいえ
4	セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している	いいえ
5	上記の内容を掲載しているページのURL	http:// www.gh.opho.jp/patient/examination.php

5大がん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※平成21年1月1日から12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
(例)肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	2 1	肺がん 胸腔鏡手術
肺がん	対応可	なし	内科 外科 放射線治療科	1	肺がん
胃がん	対応可	なし	消化器内科 外科		
大腸がん	対応可	あり	消化器内科 外科	1	大腸がん

肝がん	対応可	あり	消化器内科 外科 画像診断科		
乳がん	対応可	なし	外科 放射線治療科	1	乳がん

5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
脳腫瘍	対応可	なし	脳神経外科		
脊髄腫瘍	対応可	なし	整形外科		
眼、眼窩腫瘍	対応可	なし	眼科		
頭頸部がん	対応可	なし	耳鼻咽喉・頭頸部外科		
甲状腺がん	対応可	なし	耳鼻咽喉・頭頸部外科		
食道がん	対応可	なし	消化器内科 外科 放射線治療科		
縦隔腫瘍	対応可	なし	外科		
中皮腫	対応可	なし	内科		

5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
膵がん	対応可	なし	消化器内科 外科		
胆道がん	対応可	なし	消化器内科 外科	1	胆のうがん
十二指腸・小腸がん	対応可	なし	消化器内科 外科		
腎がん	対応可	なし	泌尿器科		
膀胱がん	対応可	なし	泌尿器科		
尿路がん	対応可	なし	泌尿器科		
副腎腫瘍	対応可	なし	泌尿器科		
前立腺がん	対応可	なし	泌尿器科		
精巣がん	対応可	なし	泌尿器科		
その他の男性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科		
5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野

子宮がん	対応可	あり	産婦人科	1	子宮頸がん
卵巣がん	対応可	なし	産婦人科		
その他の女性生殖器がん	対応可	なし	産婦人科		
皮膚腫瘍	対応可	なし	皮膚科 形成外科		
悪性骨軟部腫瘍	対応不可	なし			
血液腫瘍	対応不可	なし			
小児固形腫瘍	対応可	なし	小児科		
小児血液腫瘍	対応可	なし	小児科		
原発不明がん	対応可	なし	外科		
性腺外胚細胞腫瘍	対応可	なし	産婦人科 泌尿器科		
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間 質腫瘍)	対応可	なし	消化器内科 外科		
5大がん以外のがん	セカンドオピニ オンの対応状況	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
	(対応可・対応 不可)		所属診療科	診療科別の 人数	専門分野

疾患名:					
疾患名:					
疾患名:					

各治療	セカンドオピニ オンの対応状況 (対応可・対応 不可)	セカンドオピニ オンの実績 ※平成21年1月 1日から12月31 日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あげてください		
			所属診療科	診療科別の 人数	専門分野
化学療法	対応可	なし	消化器内科 外科 産婦人科 泌尿器科		
放射線療法	対応可	なし	放射線治療科		
緩和ケア	対応可	なし	消化器内科 外科 産婦人科 泌尿器科		

セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

実施方法	一般外来で対応	(一般外来で対応、セカンドオピニオン外来で対応、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンの問い合わせ先と申し込み方法		
窓口名	地域医療予約室	
電話番号	06-6606-7014	
FAX番号	06-6693-4143	
e-mail	なし	
対応時間	13:00~16:00	
必要な紹介状・資料が揃わない場合の対応	受付不可	(受付不可、初診として診療科外来へ紹介、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンを患者本人以外への対応	本人の同意があれば可	(可、本人の同意があれば可、不可)
通常料金	45分まで 10,500円	
超過料金		
その他の料金 (詳細と金額)	複数の診療科や医師などで検討必要な場合21000円	
相談時間の制限	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)		45分

がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 平成22年4月1日～8月31日

病院名	大阪府立急性期・総合医療センター
件数	1

No.	名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾患名	活動内容	相談支援窓口職員の関与の有無
	(例) 乳がん勉強会	年1回 10月第2月曜	相談支援センター	乳がん患者・乳がん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
	(例) 患者サロン	毎週木曜日 9-17時	病院1階受付横の部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
1	ひまわりの会	毎月第3水曜日 15時から17時	本館3階 患者会の部屋	がん全般	事由に立ち寄り、語り合える場を提供している	あり
2						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況

平成21年11月～22年8月の間に実施されたもの

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	開催場所	種類	参加/ 協力人数(人)	内容
(例)	参加済	4月5日	2日間	〇〇病院実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	〇〇病院	講義+ワークショップ	3	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
(例)	協力済	8月3日	2日間	大阪〇〇緩和ケア研修会	〇〇病院	講義+ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの 〇〇の講義に自院の医師が講師として協力
1	参加済	7月10日	2日間	大阪府立急性期・総合医療センター実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	大阪府立急性期・総合医療センター	講義+ワークショップ	25	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)で示している緩和ケア標準プログラムのことである。

**国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした
がんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況**

平成22年4月～22年8月の間に実施されたもの

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	対象	開催場所	種類	参加/協力 人数(人)	内容
(例)	協力済	4月12日	2時間	××病院 胃X線読影 研修会	二次医療圏内医 師	XX病院 会議室	講義	1	放射線科医師を、早期胃がん胃X線画像読影の ポイントに関する研修へ講師として派遣
(例)	参加済	8月11日	1時間	〇〇セミナー	二次医療圏内医 師・看護師	〇〇病 院	講義	4	〇〇についてのセミナーを受講
1	参加済	5月12日	1.5時間	緩和ケア研修会	二次医療圏内医 師・看護師・コメ	大阪府 立急性	講義	35	がん性疼痛マネジメント薬物療法ガイドラインに ついての研修会
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

**国拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の
医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況**

平成22年4月～22年8月の間に実施されたもの

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数 (人)	内容
(例)	4月20日	2時間	〇〇病院実施 ××地域肺がん合同カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	△△病院会議室	2	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退院前カンファレンス」の開催のポイント
1	6月23日	1時間	H22年度 第1回地域連携合同会議	近隣訪問看護ステーション訪問看護師・ケアマネジャー	当センター第1会議室	20	①当センターからの要望②事例検討の持ち方③医療費が高くサービスを拒否される患者の事例検討④看護協会市南支部との連携と施設連携研修会のお知らせ
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※参加人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

相談支援窓口の相談対応状況

期間 平成22年9月1日現在

病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

相談支援窓口の名称	がん相談支援センター	
相談支援窓口の電話番号		
問い合わせ先電話番号	06-6692-1201(内線3236)	
電話相談の電話番号		
※相談支援窓口が独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口	地域医療連携室、がん相談支援センター	
相談支援窓口の対応曜日と対応時間		
対応曜日と対応時間	月～金 9時～16時30分	
対面相談の対応曜日と対応時間		
電話相談の対応曜日と対応時間		
対面相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	必要	(必要、不要)
時間制限の有無	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	30	
電話相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	必要	(必要、不要)
時間制限の有無	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	30	
FAX相談の実施	未実施	(実施、未実施)
FAX相談のためのFAX番号		
e-mail相談の実施	未実施	(実施、未実施)
email相談のためのe-mail		
相談員の職種	看護師、MSW	
ピアサポート提供の有無	なし	(あり、なし)
ありの場合は具体的な活動内容を記載してください		
相談者が利用できる資料	図書、雑誌、DVD、インターネット	
うち参考図書の冊数(冊)	20	
自施設を受診していない患者さんやご家族の利用	不可	(可、不可)
地域の患者会の情報提供の有無	あり	(あり、なし)
提供可能な地域の患者会の数	1	

上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください

例: 医療連携室

上記の対応時間内で対面相談の時間設定がある場合のみ記入してください

上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください

(あり、なし)
 ※ピアサポートとは、がんを経験された方やご家族による支援活動を指しています

例: 図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット

※雑誌と冊子を含まず

**相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との
連携協力体制構築の取り組みの状況**

病院名

大阪府立急性期・総合医療センター

	がん患者団体名	活動内容	相談支援窓口 職員の関与の 有無
	(例)XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。	あり
1	ひまわりの会	患者や家族が共通の悩みを持つ仲間との交流を通して、治療や療養に関わる不安などを軽減し、共に支えあうことを目的とし、毎月2回相談会を開催(毎月第2、4金曜日15時から17時)	あり
2			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間 平成22年9月1日現在
 病院名 大阪府立急性期・総合医療センター

1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	06-6606-7014
	FAX	06-6693-4143
	電子メール	なし
	受付時間	月～金 9時～16時
	ホームページのURL	http:// www.gh.opho.jp/patient/consultation.php
2) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	06-6606-7014
	FAX	06-6693-4143
	電子メール	なし
	受付時間	月～金 9時～16時
	ホームページのURL	http:// www.gh.opho.jp/patient/consultation.php

2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2) 自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	がん相談支援センター
	電話	06-6692-1201(内線3236)
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	月～金 9時～16時
	ホームページのURL	http:// www.gh.opho.jp/patient/consultation.php
3) 自施設の緩和ケアについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	がん相談支援センター
	電話	06-6692-1201(内線3236)
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	月～金 9時～16時
	ホームページのURL	http:// www.gh.opho.jp/patient/consultation.php

3.緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2)自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3)自施設の緩和ケア病棟について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

4.臨床試験・治験の問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	臨床試験センター
	電話	06-6692-1201(内線2002)
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	http:// www.gh.opho.jp/hospital/devision/94.php
2)自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	臨床試験センター
	電話	06-6692-1201(内線2002)
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	http:// www.gh.opho.jp/hospital/devision/94.php

■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

1. ストーマ外来についての問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) ストーマ外来がある		いいえ
2) ストーマ外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のストーマ外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
4) 自施設のストーマ外来について、医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

2. リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) リンパ浮腫外来がある		はい
2) リンパ浮腫外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
4) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

3.その他の外来でのケアについての問い合わせ窓口

1)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してくださ
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

2)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してくださ
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版修正版

2006年度版修正版項目

- ◆ : 必須項目
● : 標準項目

自施設で全がんに対して登録している項目に「○」、全がんでなく一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を右の「登録している項目」欄に全項目について記入すること。

大項目	項目番号	項目名	必須/標準の別	登録している項目	
基本情報	10	患者ID番号	◆ ●	○	
	20	重複番号	●	○	
	40	氏名	◆ ●	○	
	50	性別	◆ ●	○	
	60	生年月日	◆ ●	○	
	診断情報	90	診断時都道府県コード	●	○
100		診断時住所(詳細)	●	○	
101		診断時住所(市区町村)	◆	○	
110		当該腫瘍初診日	●	○	
130		診断日1(他施設診断日)	●	○	
140		診断日2(自施設診断日)	●	○	
141		診断日	◆	○	
150		来院経路	●	○	
152		発見経緯	●	○	
153		来院・発見の経緯	◆	○	
160		診断区分(診断結果)	●	○	
161		診断施設	●	○	
170		治療方針	●	○	
180		症例区分	●	○	
182	診断及び初回治療・経過観察が行われた施設の別	◆	○		
腫瘍情報	200	診断名コード	◆ ●	○	
	210	診断名テキスト	◆ ●	○	
	220	部位の側性	●	○	
	230	治療前	ステージ(治療前・UICC)	●(5部位)	○
	231		治療前のステージ(主要5部位)	◆(5部位)	○
	232		ステージ(治療前・取扱い規約)	●(肝がん)	○
	240		TNM分類(UICC)T分類		○
	250	TNM分類(UICC)N分類	●(5部位)	○	
	260	TNM分類(UICC)M分類		○	
	270	術後病理学的	ステージ(術後病理学的・UICC)	●(5部位)	○
	280		pTNM分類(UICC)pT分類		○
290	pTNM分類(UICC)pN分類		●(5部位)	○	
300	pTNM分類(UICC)pM分類			○	
腫瘍情報	310	進展度(治療前)	●	○	
	320	進展度(術後病理学的)	●	○	
	330	組織診断名コード	◆ ●	○	
	340	組織診断名テキスト	◆ ●	○	
	350	診断根拠	●	○	
	351	病理組織標本由来	●	○	
	352	診断に寄与した検査	◆	○	
	460	外科的	外科的治療の有無	◆ ●	○
	480	・内視鏡的	体腔鏡的治療の有無	◆ ●	○
	500	・体腔鏡的	内視鏡的治療の有無	◆ ●	○
	520	治療	外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	●	○
	530	入院日(初回治療)	●	○	
	550	その他の治療	放射線治療	◆ ●	○
	560		化学療法	◆ ●	○
	570		免疫療法・BRM	●	○
	580		内分泌療法	●	○
	590		TAE	●	○
	600		PEIT	●	○
610	温熱療法		●	○	
620	レーザー等治療(焼灼)		●	○	
629	その他の治療		●	○	
予後情報	640	生存最終確認日	◆ ●	○	
	650	死亡日	◆ ●	○	
	660	予後調査結果	●	○	
	720	予後調査方法	●	○	
その他	860	登録日	●	○	
	861	最終更新日	◆	○	
	870	定義バージョン	●	○	

※ 項目の定義については、

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2006年度版 修正版」を参照すること

http://ganjoho.ncc.go.jp/hospital/cancer_registration/registration01.html

府民へのメッセージ

大阪府立急性期・総合医療センター

府民へのメッセージ(各項目200字以内)

大阪府がん診療拠点病院として

大阪府のがん診療連携拠点病院として、(1)専門的ながん医療の提供、(2)地域のがん医療連携体制の構築、(3)情報提供や相談支援を実施いたします。地域の医療機関と密接な連携を図り、継続的全人的な質の高いがん医療の提供に努めています。

がん診療に関する当院の特長

当センターの特徴では、専門的診療体制の強化、がん治療の均てん化に資する研修の実施、また患者さんと家族の方への情報提供体制を整え、その責務を果たしてまいります。また、当センターでは各診療科・部署とも協力し、診療科横断的にチーム医療を実践しています。実際の治療に際しては、複数の診療科で行う合同検討会にて、患者さん一人一人に合った治療方法を話し合い、最善な治療を行うよう、努めております。

相談支援窓口について

看護師、医療ソーシャルワーカーなど、スタッフの充実を図り、保険制度や福祉制度の紹介はもとより、がんに関する種々のお話しをお伺いし、問題解決のお手伝いをさせていただきます。なお、相談は原則として予約による面談にて行いますので、まずはお電話をください。

緩和ケアの提供体制について

がんの病期を問わず、がん患者とその家族の身体的・心理社会的苦痛の緩和について多方面から相談・助言するとともに、患者を直接診療・ケアする主治医と病棟看護師をサポートするコンサルテーション型緩和ケアチームです。病棟を巡回していますので、お気軽に声をかけてください。

【大阪府立急性期・総合医療センター】

平成22年度診療報酬改訂により、新たに追加された項目について、平成22年4月以降、算定している項目については、件数欄の「〇〇部分」に入力してください。

また、エクセル表に記載されていない算定項目がある場合は、項目を追記した上で、算定件数を入力していただきますようよろしくお願い致します。

様式2の3. の(9)の①施設基準を取得した病床数

小児入院医療管理料4	0床
小児入院医療管理料5	0床

様式2の3. の(9)の③診療報酬に係る施設基準等

慢性期病棟等退院調整加算(A328)	53件(退院時1回)
急性期病棟等退院調整加算(A328-2)	1,518件(退院時1回)
救命救急入院料3(A300)	0件(1日につき)
救命救急入院料4(A300)	3,730件(1日につき)
検体検査管理加算(IV)(D 026)	5,764件(月1回)
画像診断管理加算1(第4部 通則)	296件(月1回)

様式2の3. の(12)の②麻酔及び手術件数等の状況

ク 転移性肝がん(K695-2)	0件
------------------	----